Orlando

MRTN - 90(120・150)HBAT
MRTN - 90(120・150)HBATB
MRTN - 90(120・150)TN
MRTN - 90(120・150)TNB
MRMN - 90(120・150)HBAT
MRMN - 90(120・150)HBATB
MRMN - 90(120・150)TN
MRMN - 90(120・150)TNB

取扱説明書

取付・設置説明書

このたびは、お買い上げいただき
ありがとうございました。

■この取扱説明書をよくお読みになって、
正しく又末永くお使いください。
■取扱説明書は、いつでも見られる場所に
必ず保管し、必要な時にお読みください。

TOYO KITCHEN STYLE

本書の読みかた

本書は、次の 2 つの部分から構成されています。

■取扱説明書
(1 ～ 14 ページ)

日常の取り扱いやお手入れのしかた、トラブル時の対応方法について説明しています。
いつでも見られる場所に保管し、必要なときにお読みください。

もくじ

安全上のご注意 2
各部の名称 4
使いかた
　耐荷重と収納のしかた 6
　棚板の位置を変えるときは 6
　スライドボードの取り外し、取り付け 7
　内装引き出しの取り外し、取り付け 7
　引き戸の取り外し 8
　引き戸の調整 10
　内装引き出し前板の調整 11
　スライドボードについて 12
　その他のご注意など 12
お手入れ 13
アフターサービス 14
ご相談窓口におけるお客様の
　個人情報のお取り扱いについて 14
ホルムアルデヒド発散区分 14
VOC 放散性能 14

■取付・設置説明書
(15 ～ 57 ページ)

取付・設置を行う方のための説明書です。
移設する場合などに必要となります。

もくじ

安全上のご注意 16
取付・設置前の確認 17
製品寸法図 18
部品の一覧 20
取付・設置上のご注意 22
取付・設置方法
　下段ユニットの設置、固定 23
　上段ユニットの準備 40
　上段ユニットの設置、固定 41
　ユニットの壁面固定 43
　スリット化粧板の取り付け 44
　サイドパネルの取り付け 48
　薄型フィラーの取り付け 49
　引き戸の取り付け 50
　下レールの取り付け 52
　戸当りの取り付け 52
　引き戸の上下方向調整 53
　引き戸の前後方向調整 54
　内装パーツの取り付け 55
　内装引き出し前板の調整 57
取付・設置後の確認 58
取付・設置後の点検・清掃 58
ホルムアルデヒド発散区分 58
VOC 放散性能 58

取扱説明書

日常の取り扱いやお手入れのしかた、トラブル時の対応方法について説明しています。
いつでも見られる場所に保管し、必要なときにお読みください。

お客様へのお願い

- この取扱説明書に記載されている以外の箇所を分解・改造しないでください。
- この取扱説明書をよくお読みになって、正しく、また末永くお使いください。
- 移設などで分解するときは、必ず専門業者に依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものです。
安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は「**取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度**」をいう。
⚠ 注意	この表示の欄は「**取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度**」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような図記号は、**製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する**図記号です。
	この図記号は、**製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する**図記号です。

⚠ 警告

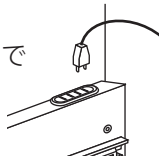
分解・修理・改造は絶対にしないでください。

分解禁止

感電、発火、ケガ、異常動作の原因になります。
故障と思われた時は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社にご連絡ください。

スライドコンセントの表示容量（ワット）を超える電気器具を使わないでください。

1200W まで



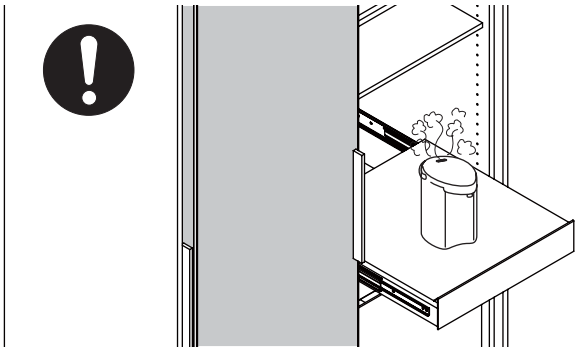
発熱により、火災の原因になることがあります。

スライドコンセントに水をかけないでください。

感電や火災の原因になることがあります。

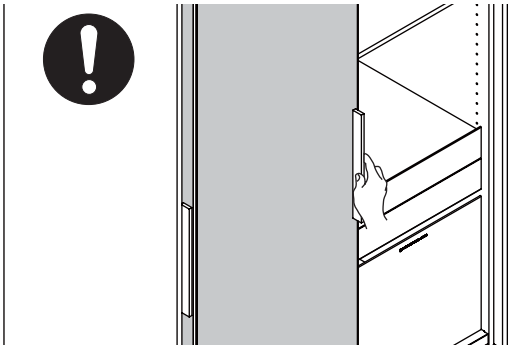
⚠ 注意

電化製品をご使用になる時は、必ずスライドボードを引き出してください。



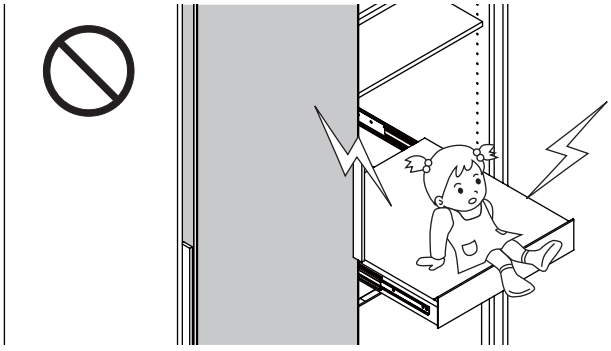
炊飯器、電気ポット、オーブントースター等の水蒸気や高温の熱がユニット内にこもり、本体の変形の原因になります。また、水蒸気が電化製品のコンセントに付着して、感電や故障の恐れがあります。

引き戸の開閉は、必ず引手を持って、静かに行ってください。



指等をはさんだり、思わぬケガをする恐れがあります。

内装引き出し、スライドボードにぶら下がったり、体重をかけたりしないでください。



ケガや破損の恐れがあります。

内装引き出し、スライドボードを開ける際は、引き戸が確実に開いていることを確認してください。また、引き戸を閉める際は、内装引き出し、スライドボードが確実に閉まっていることを確認してください。

引き戸に内装引き出し、スライドボードが当たって、ケガや破損の恐れがあります。

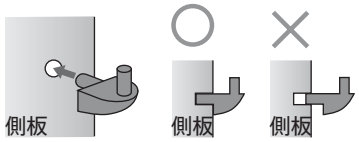
引き戸に強い衝撃を与えないでください。

ガラスや鏡が割れて、ケガをする恐れがあります。

棚板、内装引き出し、スライドボードには指定の荷重以上のせないでください。

のせているものが落ち、ケガをする恐れがあります。

棚受け（ダボ）は確実に奥まで差し込んでください。



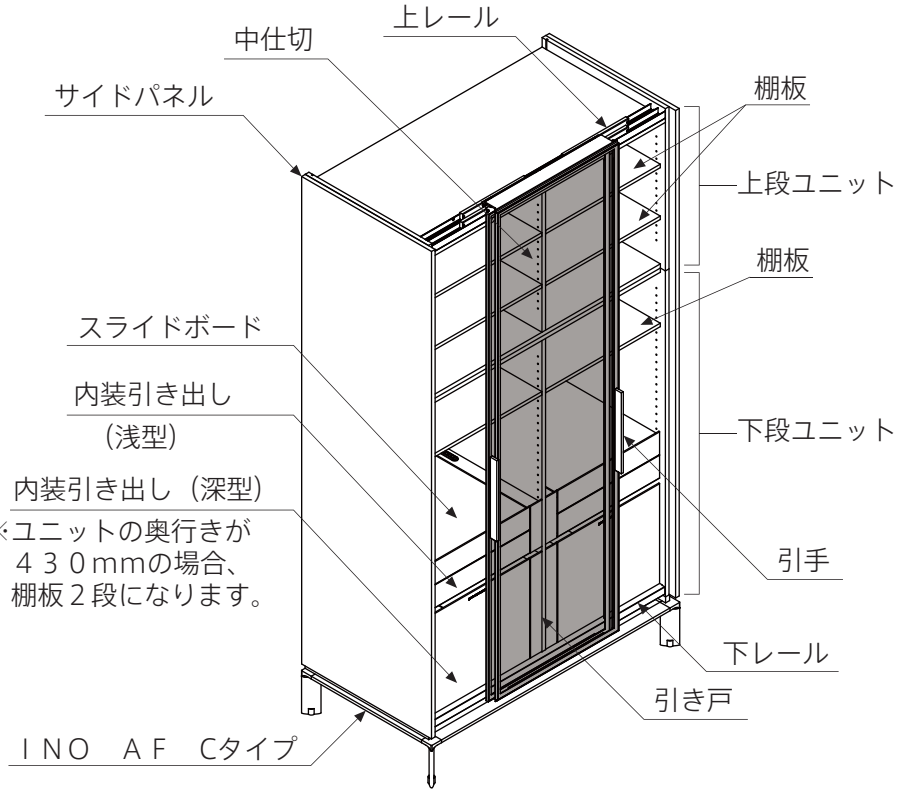
棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。

濡れた手でコンセントにさわらないでください。

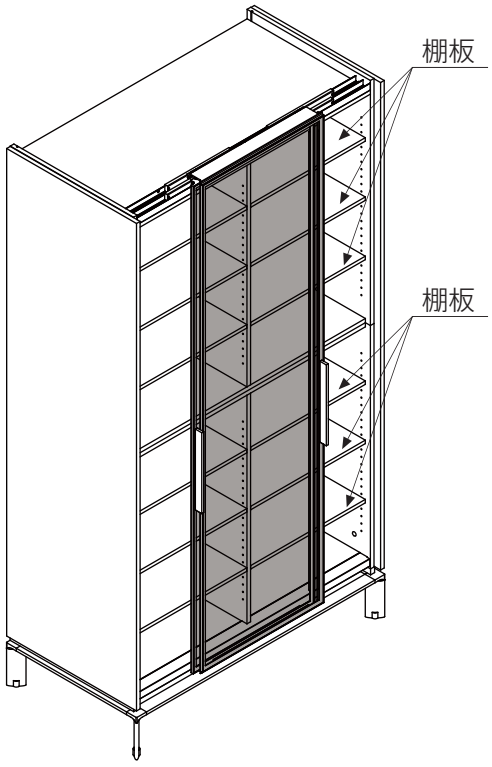
感電する恐れがあります。

各部の名称

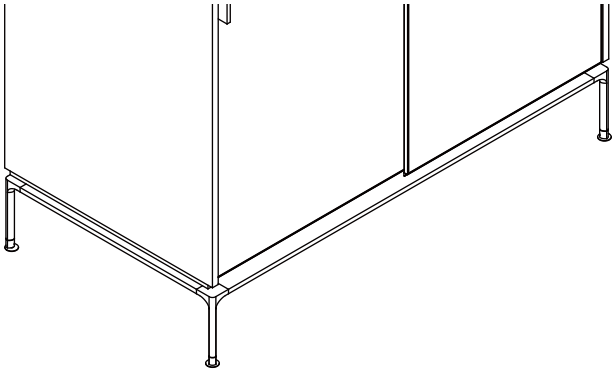
■家電収納タイプ　※図はサイドパネル有り



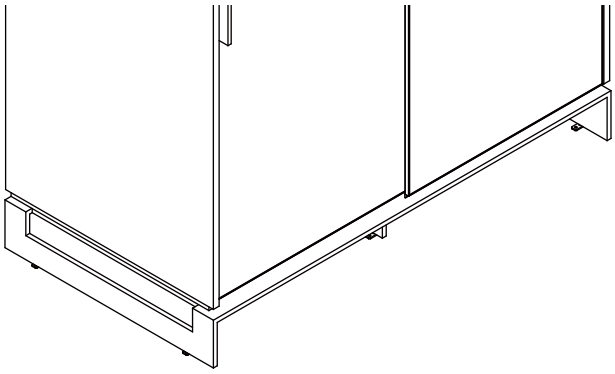
■棚板タイプ　※図はサイドパネル有り



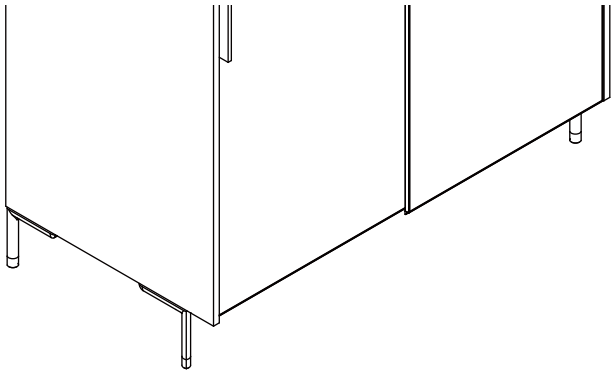
ＩＮＯ　ＡＦ　Ｓタイプ　※図はサイドパネル有り



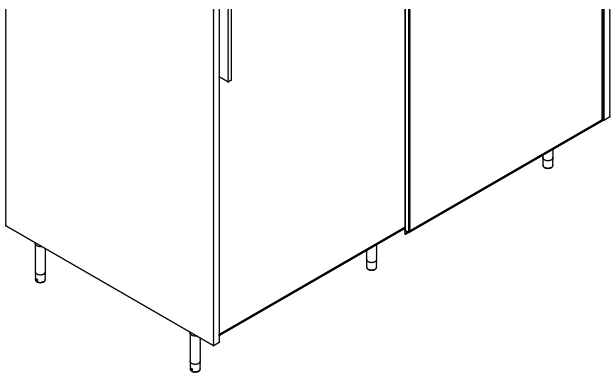
ＩＮＯ　ＡＦ　Ｆタイプ　※図はサイドパネル有り



ＣＯＲＥ　ＡＦ　※図はサイドパネル有り



ＢＡＹ　ＡＦ　※図はサイドパネル有り



使いかた

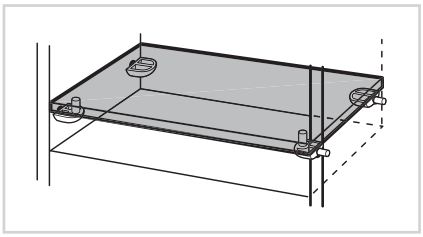
耐荷重と収納のしかた

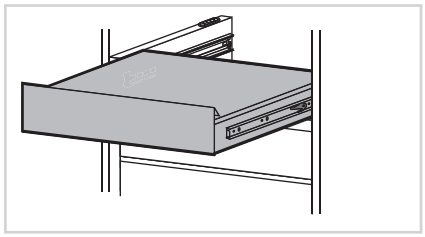
■耐荷重

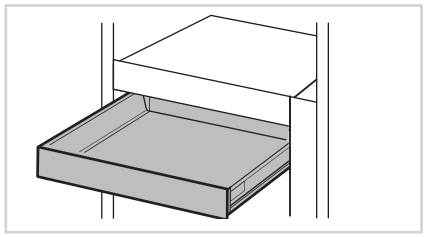
棚板（木製・ガラス製）
間口900mm　30kg
間口1200・1500mm　15kg

スライドボード　35kg

内装引き出し　15kg







※5kg…直径 20cm のお皿 15 枚程度を目安にしてください。

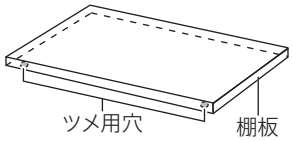
■収納のしかた
収納物は均等にのせてください。
重いものを偏った位置にのせないでください。

棚板の位置を変えるときは

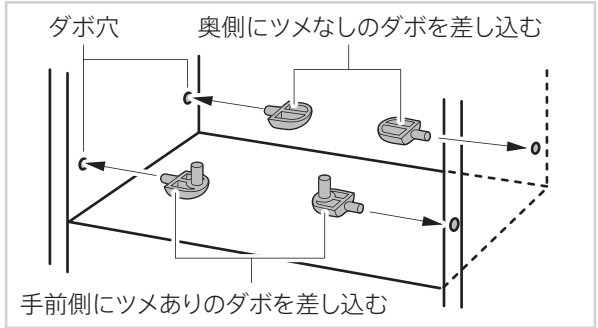
収納するものに合わせて棚板の位置を変えることができます。

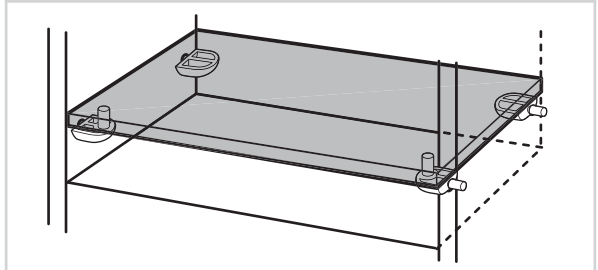
1. 棚板の上の収納物を取り除き、棚板を外します。
2. ダボを抜きます。
3. お好みのダボ穴位置にダボを差し込みます。
4. 棚板を取り付けます。

※木製棚板の場合、ツメ用穴が下面手前になるようにして、ダボの上に棚板をのせてセットします。



※木製棚板の場合





スライドボードの取り外し、取り付け

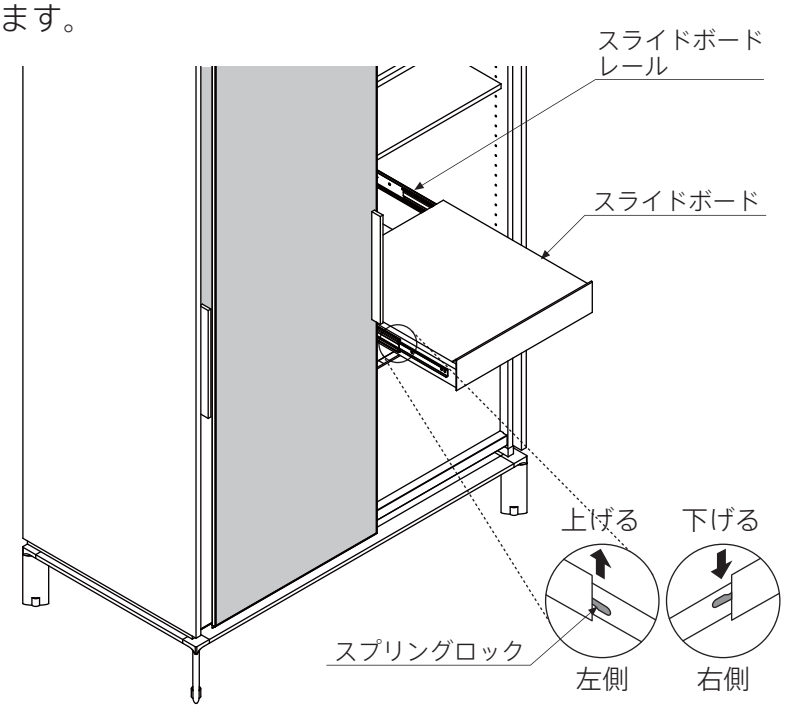
スライドボードは取り外すことができます。

■取り外し

スライドボードをいっぱいまで引き出した後、スライドボードレールについているスプリングロックを左側は上げながら、右側は下げながらさらに引き出します。

■取り付け

スライドボード本体のレールをスライドボードレールに差し込むようにスライドさせて、奥までしっかり押し込んで固定します。

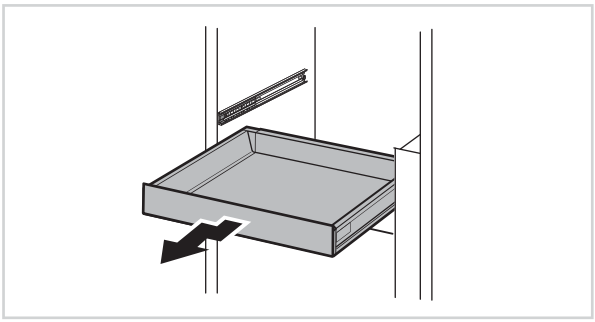


内装引き出しの取り外し、取り付け

内装引き出しは取り外すことができます。

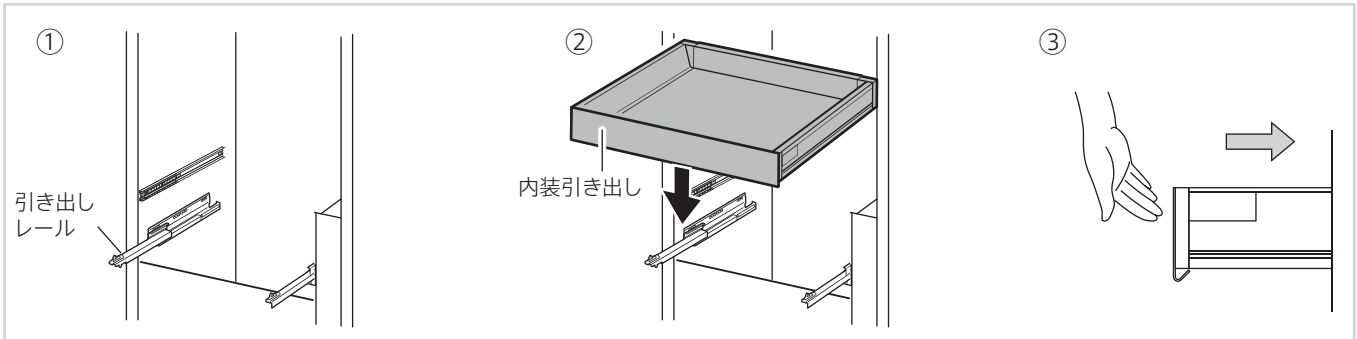
■取り外し

内装引き出しをいっぱいまで引き出し、手前を持ち上げながら引き出しレールから引き抜きます。



■取り付け

①引き出しレールをいっぱいまで引き出します。
②引き出しレールの上に内装引き出しをのせます。
③内装引き出しを「パチン」と音がするまで奥へ押し込んで、引き出しレールに固定します。



引き戸の取り外し

❶ 底板、内装引き出し（深型）を外す。

棚板タイプおよび家電収納タイプ（D430）の場合、底板を外します。（P49参照）
家電収納タイプ（D650）の場合、内装引き出し（深型）を外します。（P7参照）

❷ 下部ローラーの調整ネジをゆるめる。

引き戸（R/L）の下部ローラー４個の調整ネジを反時計回りに回してゆるめてください。（図１）
※上部、下部ローラーを調整の際にはフレキシブルドライバーをご使用ください。

❸ 上部ローラーの調整ネジをゆるめる。

引き戸（R/L）の上部ローラー４個の調整ネジを反時計回りに回してゆるめてください。（図２）

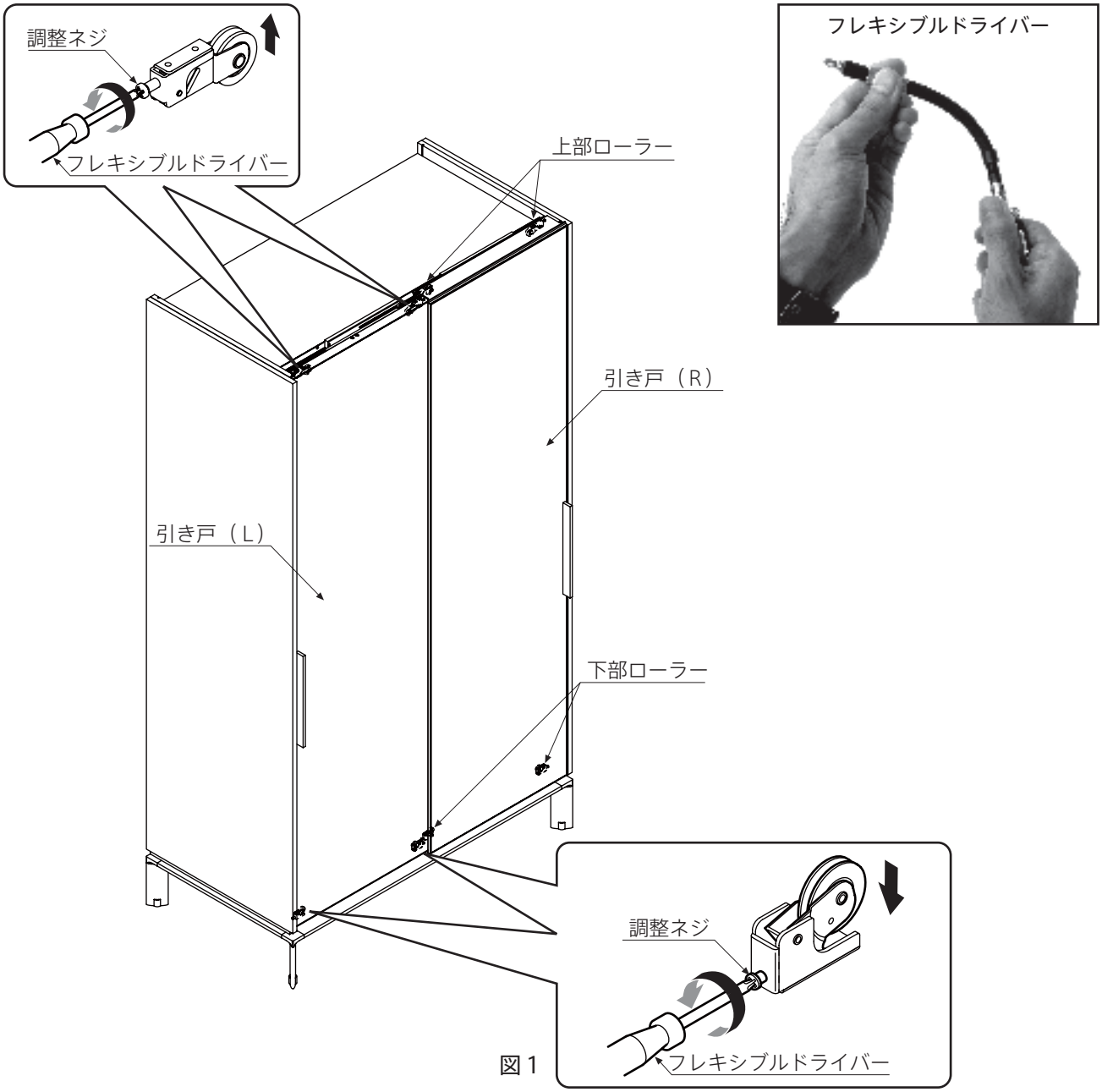


図２

図１

4 下レールを外す。

下レールのネジを外し、引き戸２枚を手前に引きながら、下レールを外します。（図３）

5 引き戸（R）を外す。

引き戸（R）を右端に移動させ、下部を手前に引き、下部を手前に引いたまま、引き戸を中心に持っていきます。中心まで来たら、全体を持ち上げ、上レールのレール部分（奥側）から取り外します。（図４）

6 引き戸（L）を外す。

引き戸（L）を中心に移動させ、下部を手前に引き、全体を持ち上げ、上レールのレール部分から取り外します。

注意

引き戸（R）を外さないと、引き戸（L）は外せません。

図３

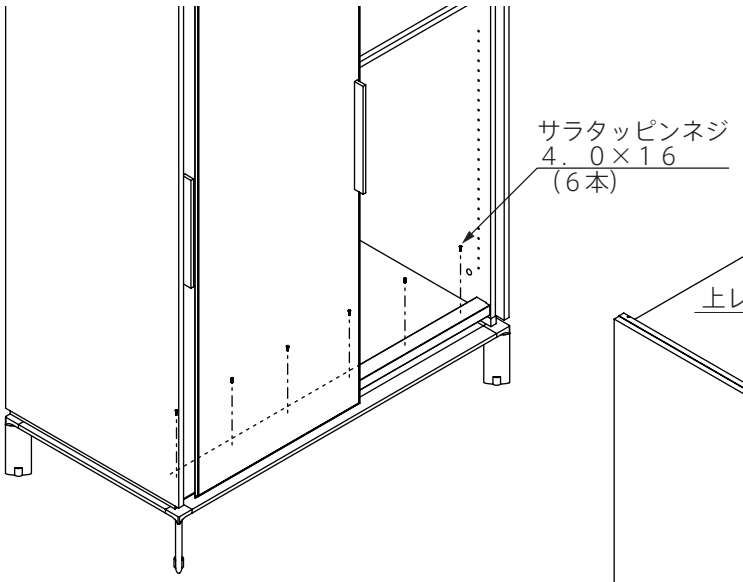
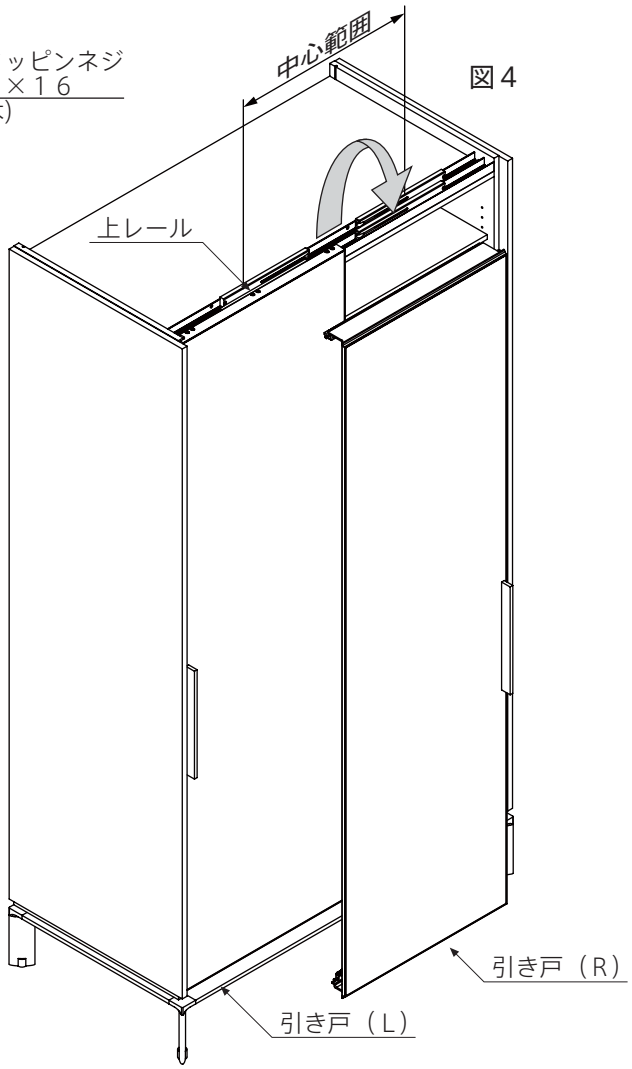


図４



引き戸の調整

引き戸の水平が出ていない時は、上部ローラーで調整してください。

❶ 下部ローラーの調整ネジをゆるめる。

下部ローラー（左右２ヶ所）の調整ネジを反時計回りに回してゆるめてください。（図２）

❷ 上部ローラーの調整ネジで調整する。

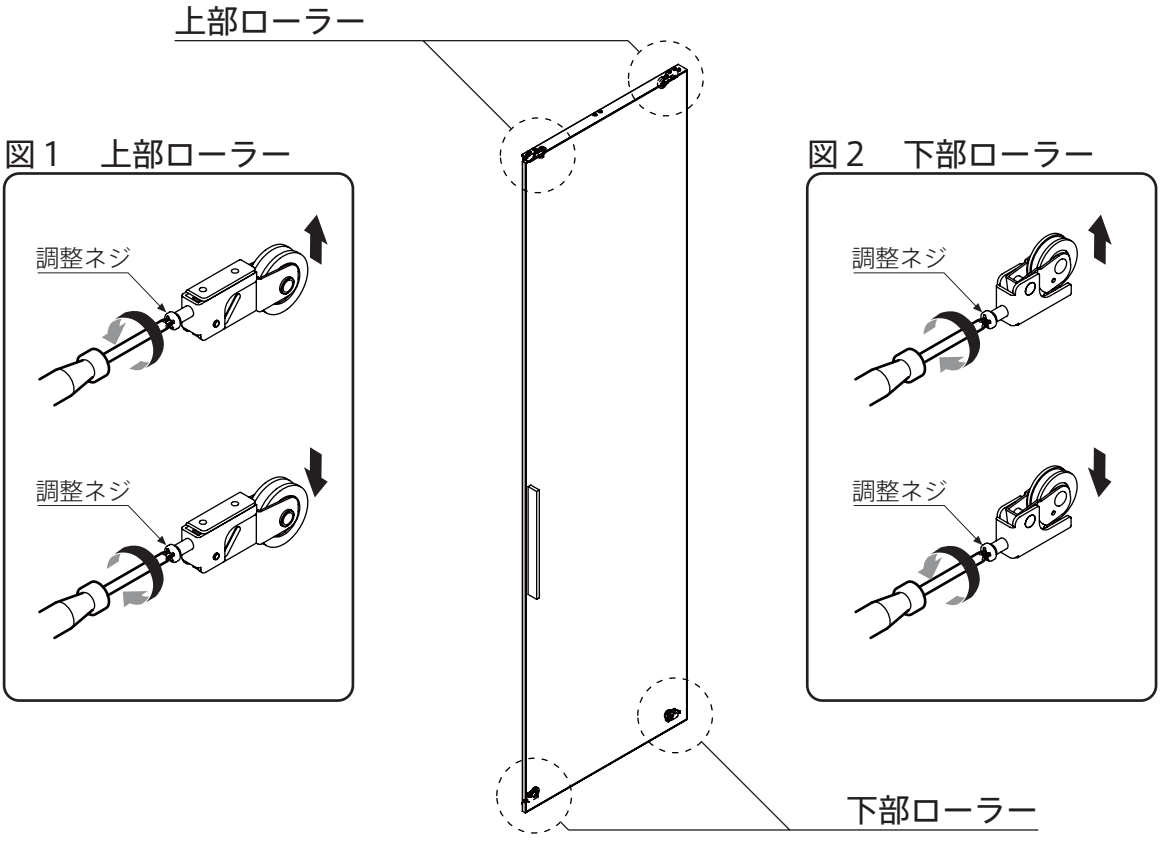
上部ローラーの調整ネジを回して調整し、水平を出してください。（図１）

❸ 下部ローラーの調整ネジを締める。

下部ローラーの調整ネジを時計回りに回して引き戸にガタがないように締め付けてください。（図２）

※下部ローラーの調整ネジを締め付けすぎないように注意してください。

※下部ローラーを締め付けてもガタがある場合は、上部ローラーの調整ネジで引き戸を上げてください。

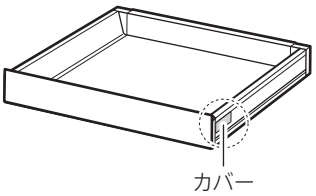


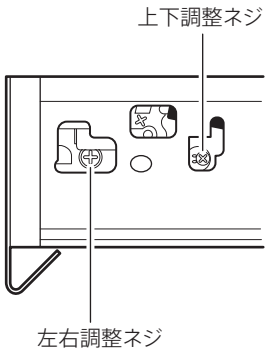
内装引き出し前板の調整

内装引き出し前板は調整することができます。

① カバーを取り外す

内装引き出し側板の左右外側に付いている
カバーを取り外します。

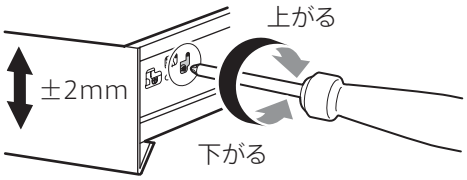




② 調整を行う

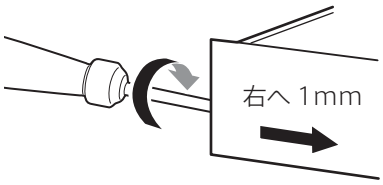
■上下方向

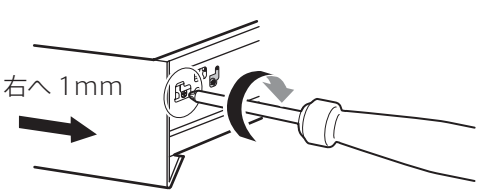
上下調整ネジで上下方向の調整を行います。
± 2 mm 調整できます。

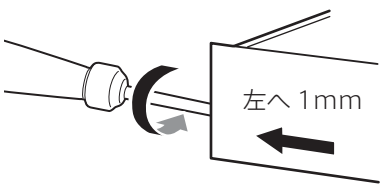


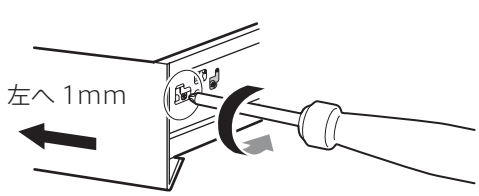
■左右方向

左右調整ネジで左右方向の調整を行います。
± 1 mm 調整できます。







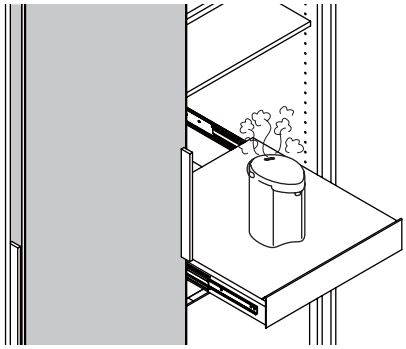


③ カバーを取り付ける

スライドボードについて

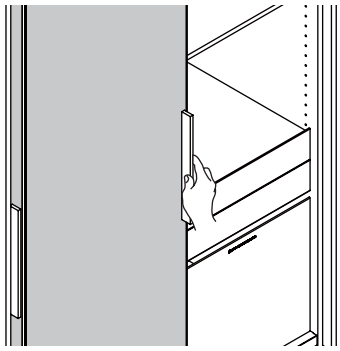
電化製品をご使用になる時は、必ずスライドボードを引き出してください。

炊飯器、電気ポット、オーブントースター等の水蒸気や高温の熱がユニット内にこもり、本体の変形の原因になります。また、水蒸気が電化製品のコンセントに付着して、感電や故障の恐れがあります。



その他のご注意など

● **引き戸の開閉は、把手を持って開閉してください。**



● **引き戸（ミラー）に水等が付着した場合はすぐに拭き取り、常に清潔な状態を保ってください。** →

鏡の銀は薬品により腐食する恐れがあります。
また、水は腐食を促進させることがあります。

● **引き戸に強い衝撃を与えないでください。** →

ガラスや鏡が割れて、ケガをする恐れがあります。

● **高熱のものは近づけないでください。** →

暖房器具等を近づけると、引き戸の変形の原因になります。

● **弱アルカリ性の漂白剤・硫酸・塩酸等の強酸、ガソリン・アルコール・シンナー・ベンジン等の溶剤、ワックス・化学雑巾等は、絶対に使用しないでください。** →

変質・変色する恐れがあります。

お手入れ

汚れは放置すると落ちにくくなりますので、汚れたらすぐにお手入れすることをおすすめします。
お手入れには、やわらかい布をご使用ください。
ガラスや鏡部分のお手入れは、乾布または湿った布で拭いてください。
市販のガラスクリーナー等を使用する場合は、鏡裏面や端部にガラスクリーナーが付着しないようにしてください。

■通常のお手入れ

水を含ませてよく絞ったやわらかい布で拭いた後、
乾いたやわらかい布でから拭きします。

■汚れたときのお手入れ

必ず中性洗剤を使用してください。
シンナー、ベンジン等の有機溶剤や漂白剤は絶対に使用しないでください。
変質・変色する恐れがあります。

①中性洗剤をやわらかい布にしみこませて拭きます。

②水を含ませてよく絞ったやわらかい布で洗剤を拭き取ります。

③乾いたやわらかい布でから拭きします。

アフターサービス

■この取扱説明書に記載されている事項を点検していただいてもなお異常が発生する場合や、お気づきの点がありましたら、取付・設置店、販売店、または弊社ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。ユーザーサポートセンターの連絡先は、本書の裏面をごらんください。

■お問い合わせの際は、次の内容をご連絡ください。

・ご氏名　・ご住所　・お電話番号
・お買い上げ日　・異常の内容　・品番

■製品の保証期間はお買い上げ後、取扱説明書に従って正常な使用状態において１年間です。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

■弊社および弊社関係会社（以下「弊社」）は、お客様よりお知らせいただきましたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を下記の通りお取り扱いします。

1．弊社は、お客様の個人情報を弊社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を弊社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使ために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2．弊社は、お客様の個人情報を適切に管理します。
3．お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

ホルムアルデヒド発散区分

ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分および下地部分とも	F☆☆☆☆
表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」キッチンバス工業会　表示指針による	

VOC 放散性能

ＶＯＣ放散性能	４ＶＯＣ基準適合（木質建材）
表示ルール	「住宅部品ＶＯＣ表示ガイドライン」による

※４ＶＯＣとは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示します。

取付・設置説明書

取付・設置を行う方のための説明書です。
移設する場合などに必要となりますので、取扱説明書とともに保管してください。

取付・設置される方へのお願い

- ●取付・設置時に、引き戸などを分解しないでください。
- ●取付・設置後は最終頁に記載されている内容を確認してください。
- ●移設などで分解するときは、組み立てと逆の手順で行ってください。
  ただし、必ず専門業者に依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく行ってください。

■表示内容を無視して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、
次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は**「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」**をいう。
⚠ 注意	この表示の欄は**「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」**をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような図記号は、**製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する**図記号です。
	この図記号は、**製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する**図記号です。

■取付・設置完了後、説明書の内容に従って各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。
■この「取扱説明書、取付・設置説明書」は、お客様にお渡しする大切な書類です。
紛失や、汚れが生じないように大切に保管し、取付・設置完了後、お引き渡し時にお客様へお渡しください。

⚠ 警告

取付・設置は、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。

転倒して、ケガをする恐れがあります。

分解・修理・改造を行わないでください。

ケガをする恐れがあります。

電気工事は、関連する法令・規程に従って必ず「有資格者」が行ってください。

火災、感電の原因になることがあります。

⚠ 注意

必ず壁面に固定してください。

転倒して、ケガをする恐れがあります。

取付・設置完了後は、部品のゆるみがないことを確認してください。

ケガをする恐れがあります。

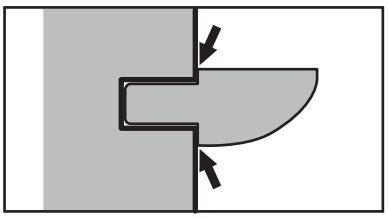
引き戸を取り付けた後は、数回開閉させてガタつき、異音がないかなど異常がないことを確認してください。

引き戸が落下して、ケガをする恐れがあります。

引き戸は重量があるため、慎重に取り扱ってください。

外れたり、倒れたりするとケガをする恐れがあります。

棚板を設置するときは、棚受け（ダボ）をすきまのないよう根元まで確実に差し込んでください。



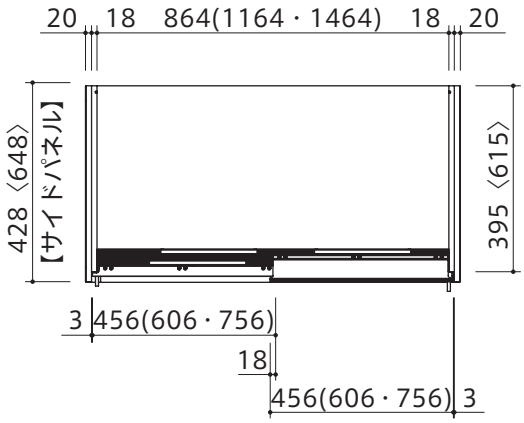
確実に差し込まれていないと、棚板が外れ、収納物が落下して、ケガをする恐れがあります。

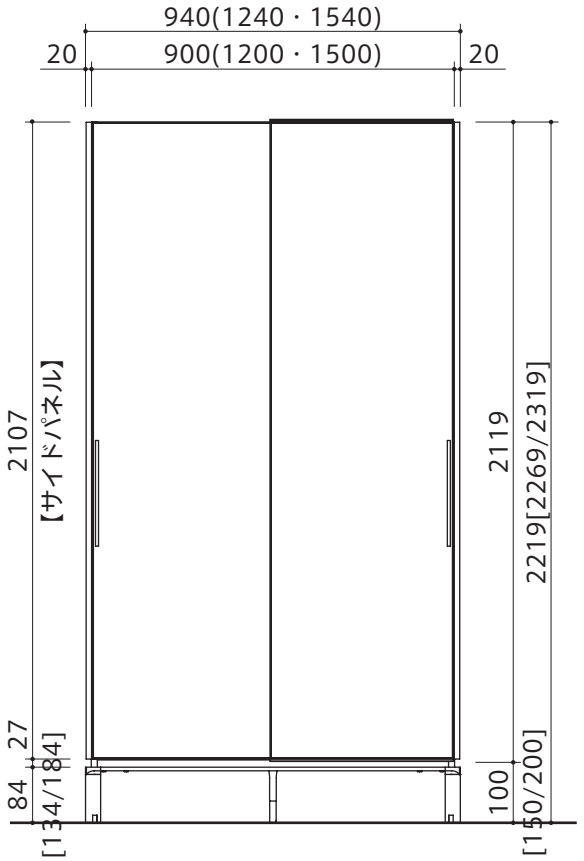
取付・設置前の確認

1　注文した製品が納入されているか確認してください。
2　壁面の取付位置に取付桟があることを確認してください。
3　MR☆N-90(120・150)HBAT★の場合、指定位置に電源が壁出し（壁より１m程度）してあるか確認してください。（交流・単相１００Ｖ　１２００W×２）
4　壁の直角・垂直・床の水平レベルを確認してください。
5　下記の天井高さがあることを確認してください。
・ＡＦ仕様【H＝１００】の場合、2320mm以上（※ＩＮＯ　ＡＦ　Cタイプの設定は無し）
・ＡＦ仕様【H＝１５０】の場合、2370mm以上
・ＡＦ仕様【H＝２００】の場合、2420mm以上（※ＩＮＯ　ＡＦ　C／Sタイプのみ）

製品寸法図

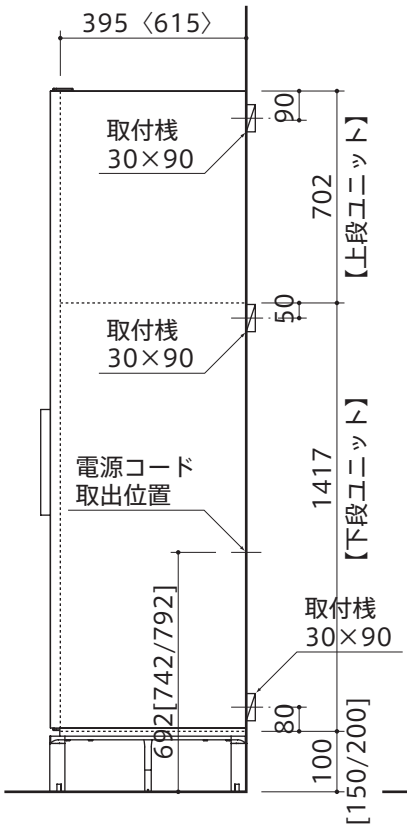
※〈 〉内寸法は、MRMN-90(120・150)＊＊＊＊＊の場合を示す。
※［ ］内寸法は、ＡＦ仕様［H=150/200］の場合を示す。
　イラストは、ＩＮＯ　ＡＦ　Ｃタイプの場合を示す。
※電源コードの取り出しは、MR☆N-90(120・150)HBAT★の場合のみ。





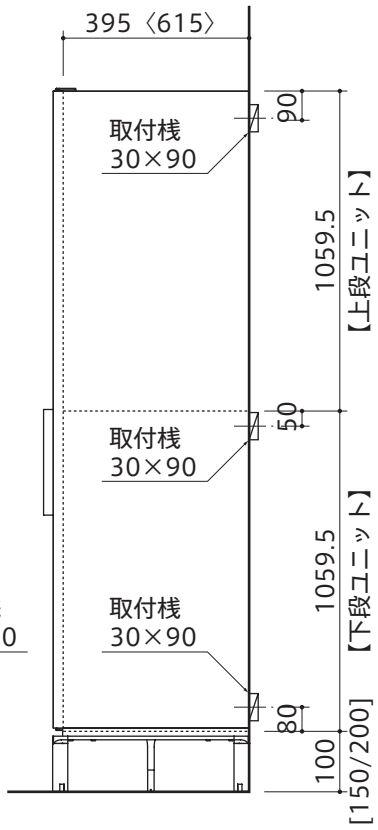
家電収納タイプ

■ MR☆N-＊＊＊HBAT★



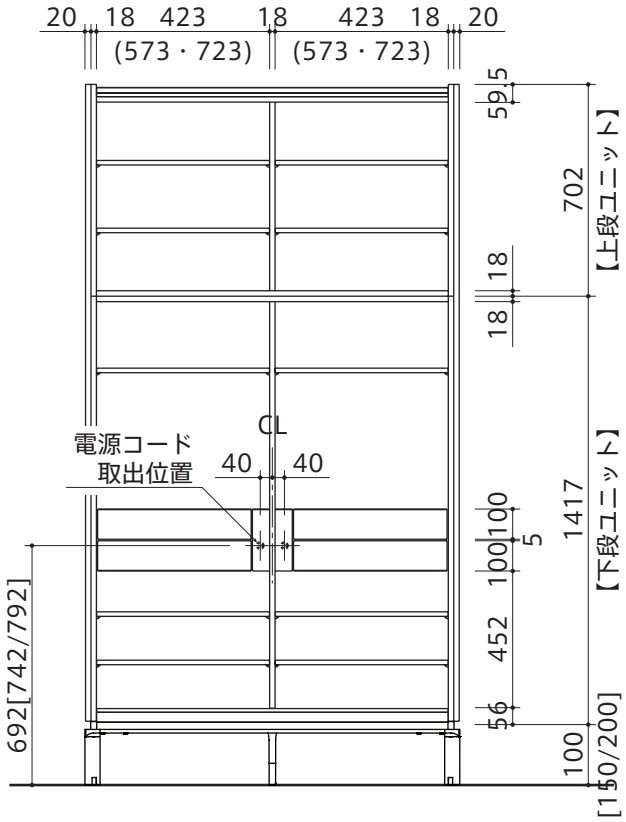
棚板タイプ

■ MR☆N-＊＊＊TN★

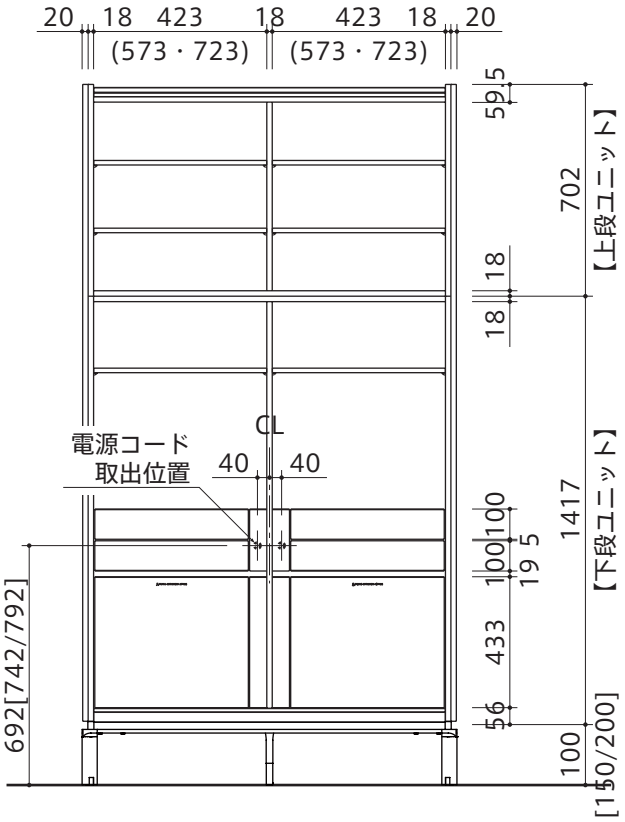


家電収納タイプ

■ MRTN-90 (120・150) HBAT★

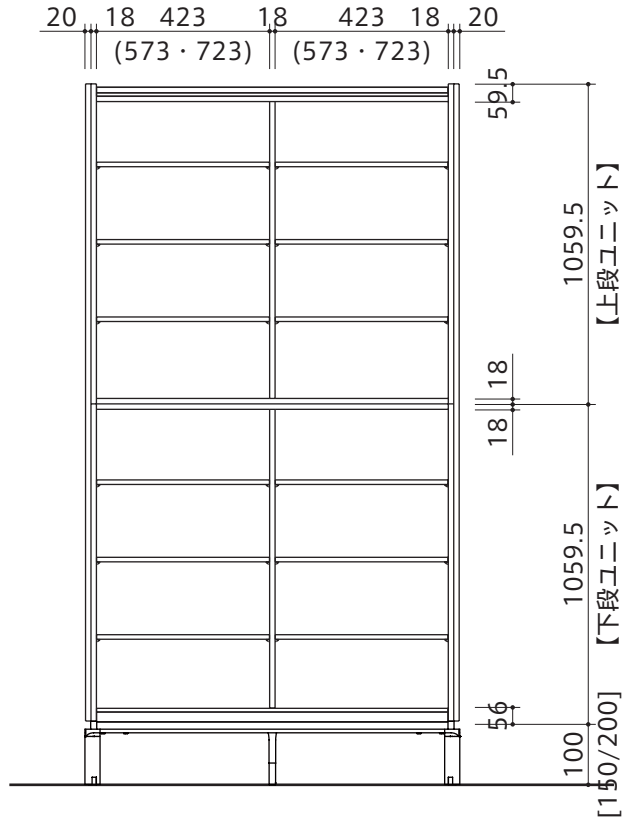


■ MRMN-90 (120・150) HBAT★



棚板タイプ

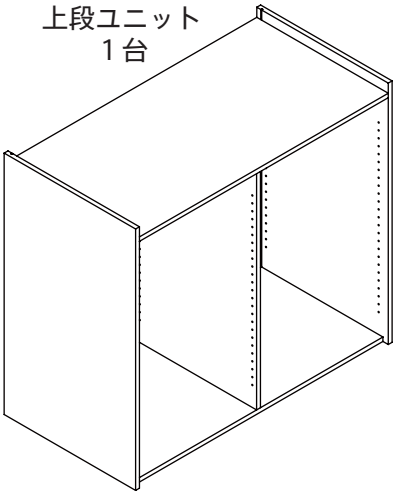
■ MR☆N-90 (120・150) TN★



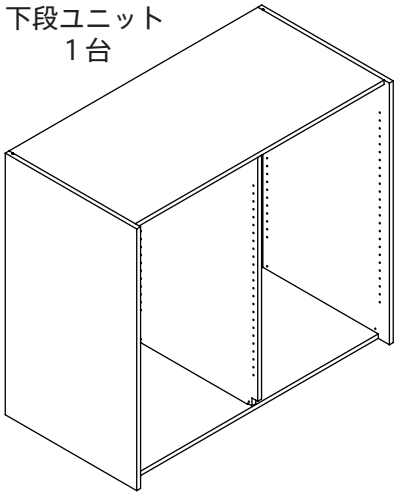
部品の一覧

・下記の部品にて構成されています。
欠品等の無いことを確認してください。

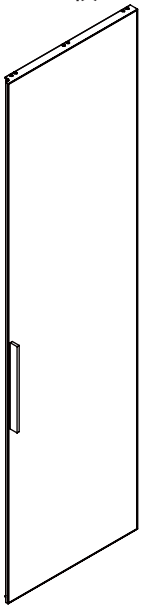
上段ユニット
1台



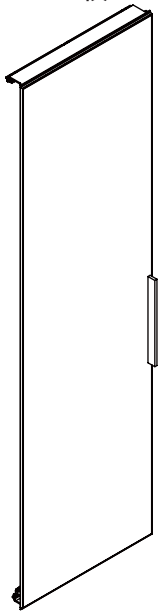
下段ユニット
1台



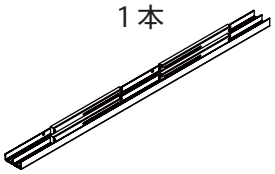
引き戸（L）
1枚



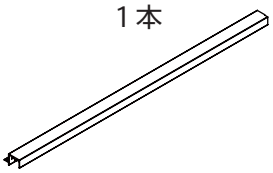
引き戸（R）
1枚



上レール［部品付］
1本



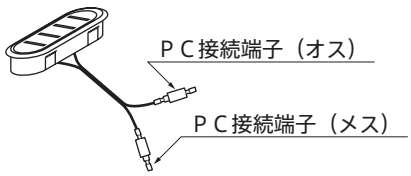
下レール［部品付］
1本



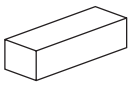
戸当り
2個

棚板［部品付］
MR☆N-90(120・150)TN★
…１２枚＋底板用２枚
MRTN-90(120・150)HBAT★
…１０枚＋底板用２枚
MRMN-90(120・150)HBAT★
…６枚

スライドコンセント　２個
［ＰＣ接続端子　オス、メス各２個付］

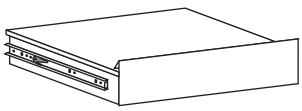


スペーサー
・サイドパネル無用２個
12 x 16 x 50（mm）
・サイドパネル有用２個
18 x 16 x 52（mm）

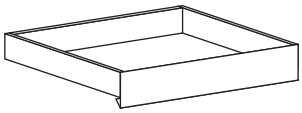


■家電収納タイプの場合

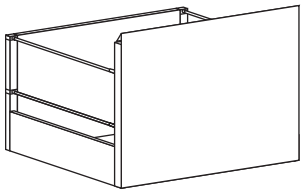
スライドボード
２本



内装引き出し（浅型）
２本



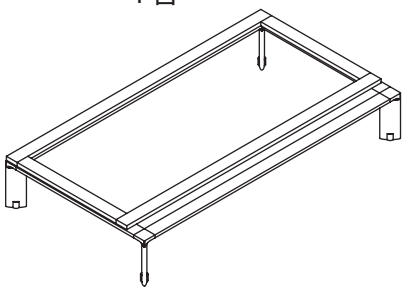
MRMN-90 (120・150)
HBAT★の場合のみ
内装引き出し（深型）
２本



《 付属部品 》
・⊕ナゲシネジ４．２×６０ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２本
・⊕ナゲシネジ３．８×３２ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １４本
・ワッシャー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２６個
・ヘッドキャップカバー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２６個
・取説工説 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １冊

■ＩＮＯ　ＡＦ　Ｃタイプの場合（別売品）※セットプランをのぞく

ＩＮＯ　ＡＦ　Ｃタイプ
1台

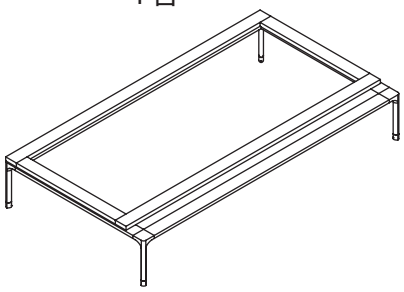


ー　ワッシャーヘッドタッピンネジ
４．０×４０　・・・　４本

ユニット１セットにつき
・⊕サラタッピンネジ４．０×３０
・ワッシャー
・ヘッドキャップカバー
Ｗ＝９００mmの場合　・・・・・・・・・・　各８個使用
Ｗ＝１２００・１５００mmの場合　・・・　各１２個使用

■ＩＮＯ　ＡＦ　Ｓタイプの場合（別売品）※セットプランをのぞく

ＩＮＯ　ＡＦ　Ｓタイプ
1台



ー　ワッシャーヘッドタッピンネジ
４．０×４０　・・・　４本

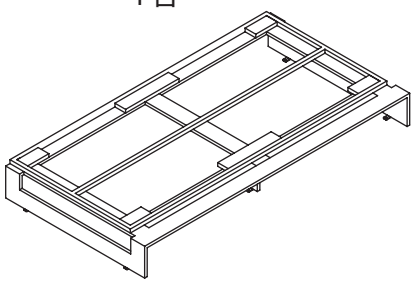
ー　転倒防止部品　・・・・・・・・・・・　４個

ー　床保護プレートφ３０　・・・・・・　４枚

ユニット１セットにつき
・⊕サラタッピンネジ４．０×３０
・ワッシャー
・ヘッドキャップカバー
Ｗ＝９００mmの場合　・・・・・・・・・・　各８個使用
Ｗ＝１２００・１５００mmの場合　・・・　各１２個使用

■ＩＮＯ　ＡＦ　Ｆタイプの場合（別売品）※セットプランをのぞく

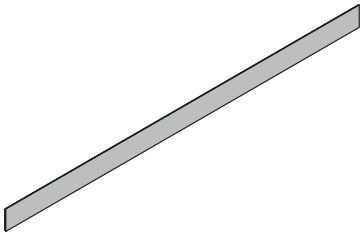
ＩＮＯ　ＡＦ　Ｆタイプ
1台



ユニット１セットにつき
・⊕サラタッピンネジ４．０×３０　・・・　８本使用
・ワッシャー　・・・　８個使用
・ヘッドキャップカバー　・・・　８個使用

■ＩＮＯ　ＡＦ　Ｃ・Ｓ・Ｆタイプ共通部品

スリット化粧板
・１６mm巾（Ｃ・Ｓタイプのみ）　・・・　１本
・２４mm巾　・・・・・・・・・・・・・・　最大３本
・２６mm巾　・・・・・・・・・・・・・・　最大３本



■ＣＯＲＥ　ＡＦの場合（別売品）※セットプランをのぞく

サイドパネル有の場合

－　コーナーＲタイプ　・・・　２個

－　コーナーＬタイプ　・・・　２個

－　補助脚　・・・・・・・・　１個
（アジャストパーツ　　１個）
（アジャスタープレート　１個）
（Ｍ８セレート付ネジ　　１本）

⊕バインドタッピンネジ４．０×１６　２８本
⊕サラタッピンネジ４．０×１６　・・　６本

サイドパネル無の場合

－　底板スペーサー　・・・・　４個

－　コーナーＳタイプ　・・・　４個

－　補助脚　・・・・・・・・　１個
（アジャストパーツ　　１個）
（アジャスタープレート　１個）
（Ｍ８セレート付ネジ　　１本）

⊕バインドタッピンネジ４．０×１６　２８本
⊕サラタッピンネジ３．５×１６　・・　４本
⊕サラタッピンネジ４．０×１６　・・　６本

※連結する場合、サイドパネル有・無にかかわらず
連結箇所１箇所につき１セット同梱。

－　連結スペーサー　・・・・　１個

－　センターＢタイプ　・・・　１個

－　補助脚　・・・・・・・・　１個
（アジャストパーツ　　１個）
（アジャスタープレート　１個）
（Ｍ８セレート付ネジ　　１本）

⊕バインドタッピンネジ４．０×１６　８本
⊕サラタッピンネジ３．５×３５　・・　４本
⊕サラタッピンネジ４．０×１６　・　１２本

■ＢＡＹ　ＡＦの場合（オプション部品）

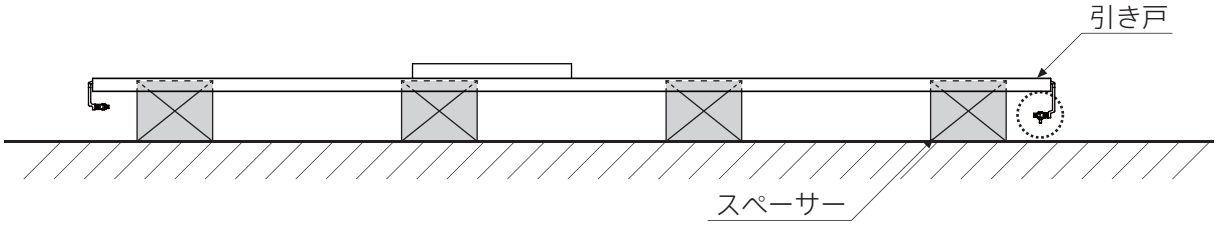
－　アジャスター脚　・・・・　６個
※連結する場合、連結箇所１箇所につき
アジャスター脚４個追加

アジャスター脚１個につき、
⊕バインドタッピンネジ４．０×１６　６本

取付・設置上のご注意

注意

引き戸は直接床に置かないでください。ローラーが変形する恐れがあります。
引き戸を床に置く際は、ガイドピンが床に当たらないよう引き戸と床の間にスペーサーを入れて、表面を上にして水平に置いてください。



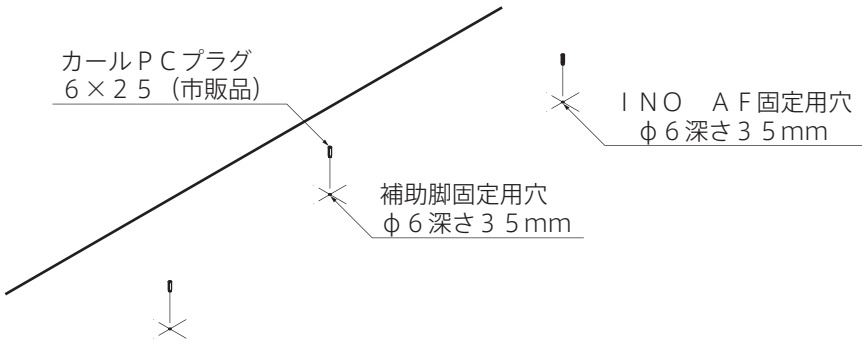
取付・設置方法

下段ユニットの設置、固定

◎ＩＮＯ　ＡＦ　Ｃタイプ／Ｓタイプの場合

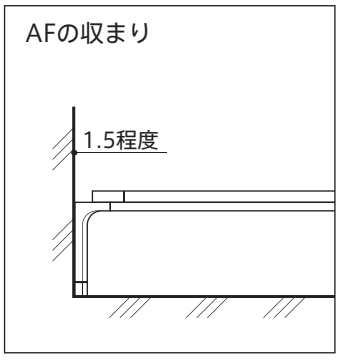
❶固定用穴あけ（※床固定にカールＰＣプラグを使用する場合）

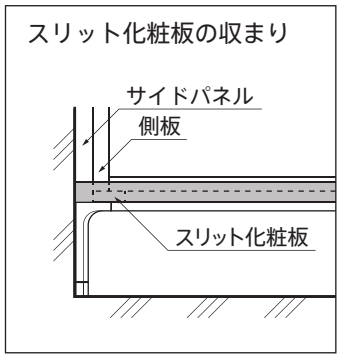
・コンクリート床、石床の場合、ＩＮＯ　ＡＦと補助脚の取付位置にカールＰＣプラグを取り付けます。
　ＩＮＯ　ＡＦと補助脚の設置位置に固定用穴φ６深さ３５mmをあけます。
　固定用穴にカールＰＣプラグ６×２５（市販品）を打ち込みます。
※壁に接する側のＩＮＯ　ＡＦ取付位置にはカールＰＣプラグの取り付けは不要です。



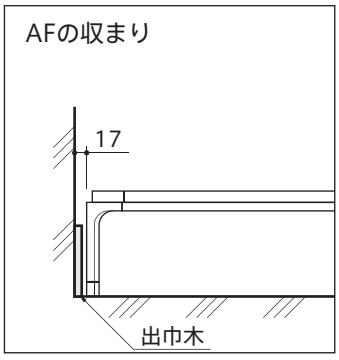
［正面図］　※イラストはＳタイプを示します。収まりはＣタイプも同様です。

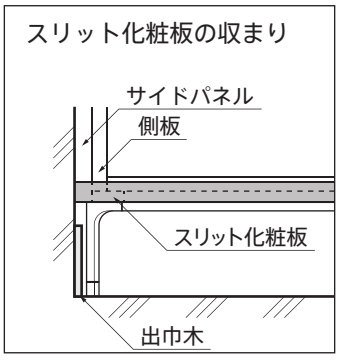
■側面の壁に出巾木がない場合





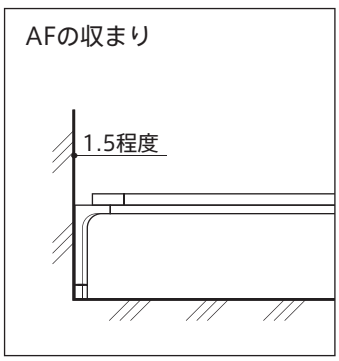
■側面の壁に出巾木がある場合

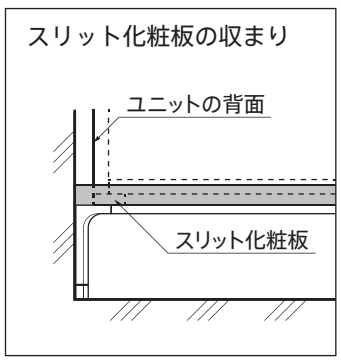




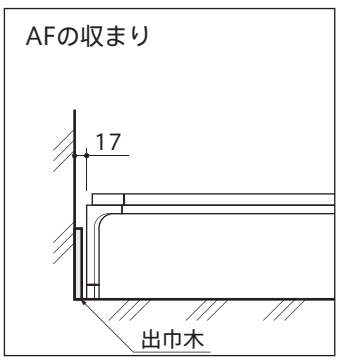
［側面図］

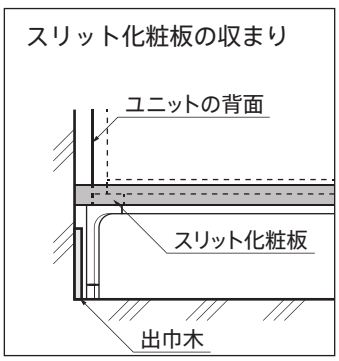
■背面の壁に出巾木がない場合





■背面の壁に出巾木がある場合

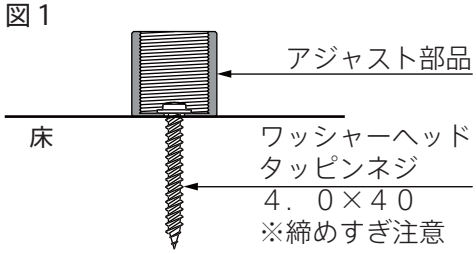


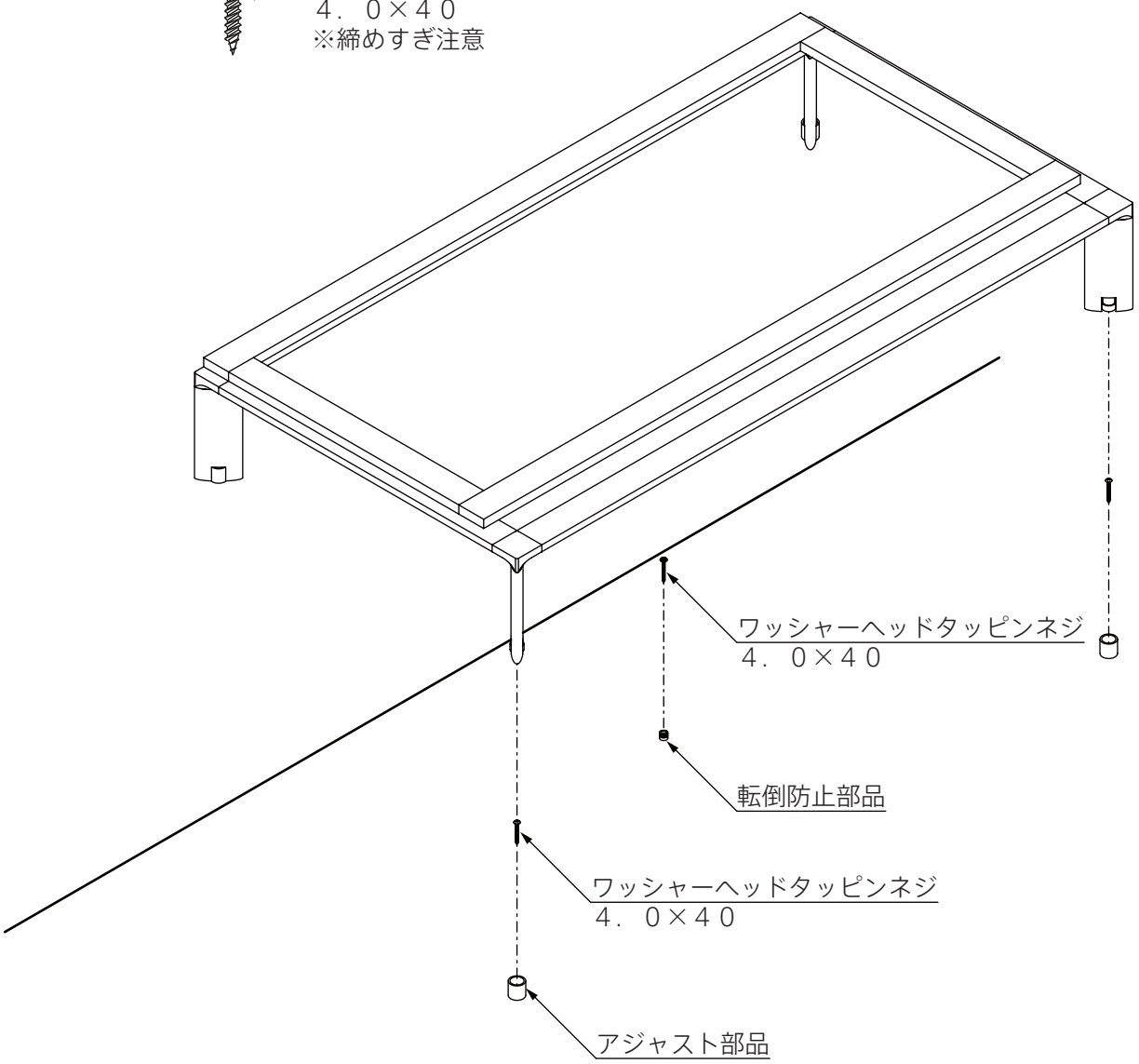


❷転倒防止部品の取り付け、ＩＮＯ　ＡＦの設置

【ＩＮＯ　ＡＦ　Cタイプの場合】
・ＩＮＯ　ＡＦの設置位置に、付属のワッシャーヘッドタッピンネジ４．０×４０にて転倒防止部品を床面に固定します。
※ネジはアジャスト部品が回る程度に締めてください。（図１）
・補助脚の設置位置に、付属のワッシャーヘッドタッピンネジ４．０×４０にて転倒防止部品を床面に固定します。
※コンクリート床、石床の場合、床面にあけた固定用穴の位置に合わせて取り付けます。
・ＩＮＯ　ＡＦを転倒防止部品に差し込みながら床面に設置します。

図１





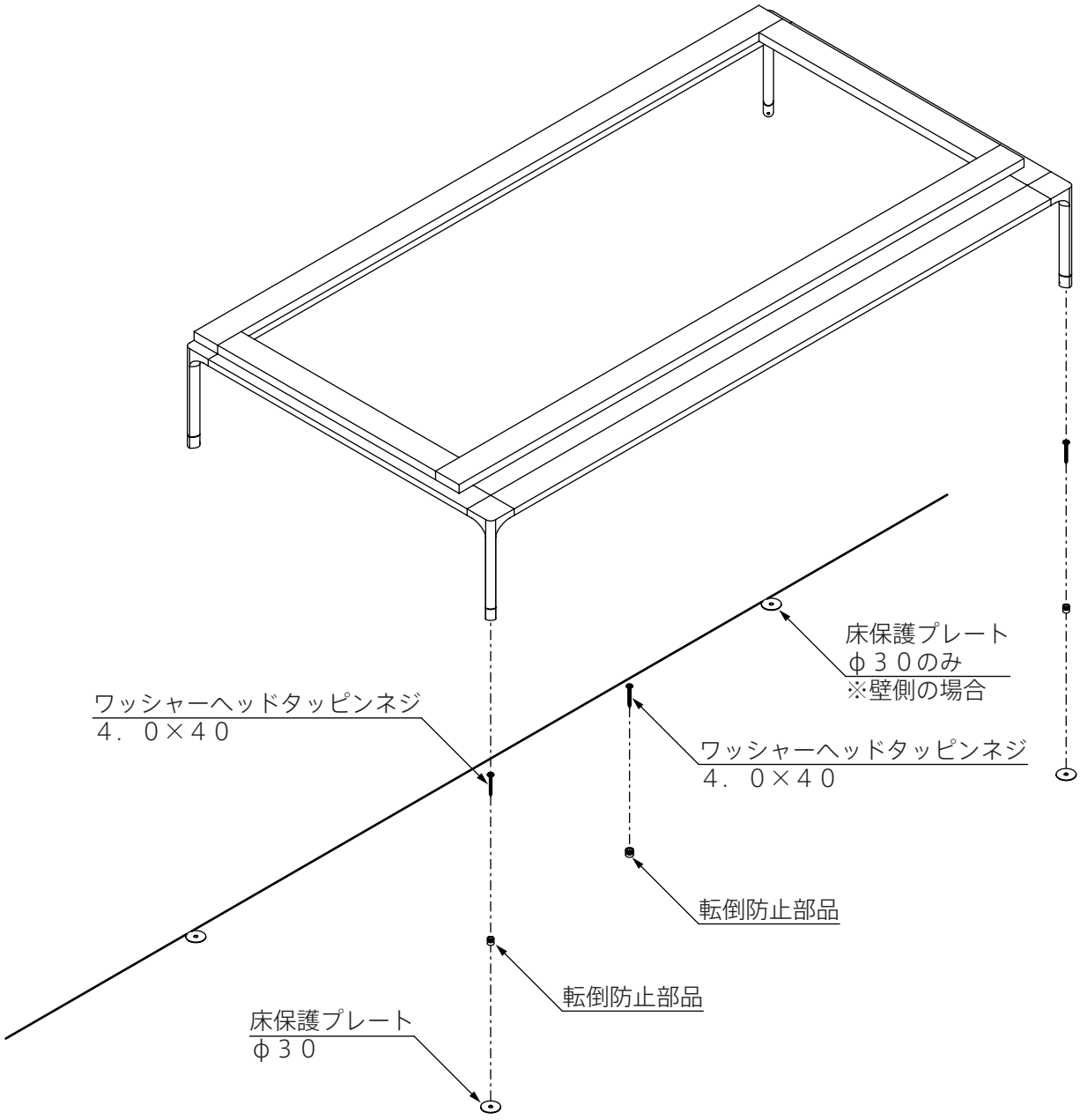
【ＩＮＯ　ＡＦ　Ｓタイプの場合】

・ＩＮＯ　ＡＦの設置位置に、床保護プレートφ３０を置き、その上から付属のワッシャーヘッドタッピンネジ４．０×４０にて転倒防止部品を床面に固定します。

・補助脚の設置位置に、付属のワッシャーヘッドタッピンネジ４．０×４０にて転倒防止部品を床面に固定します。

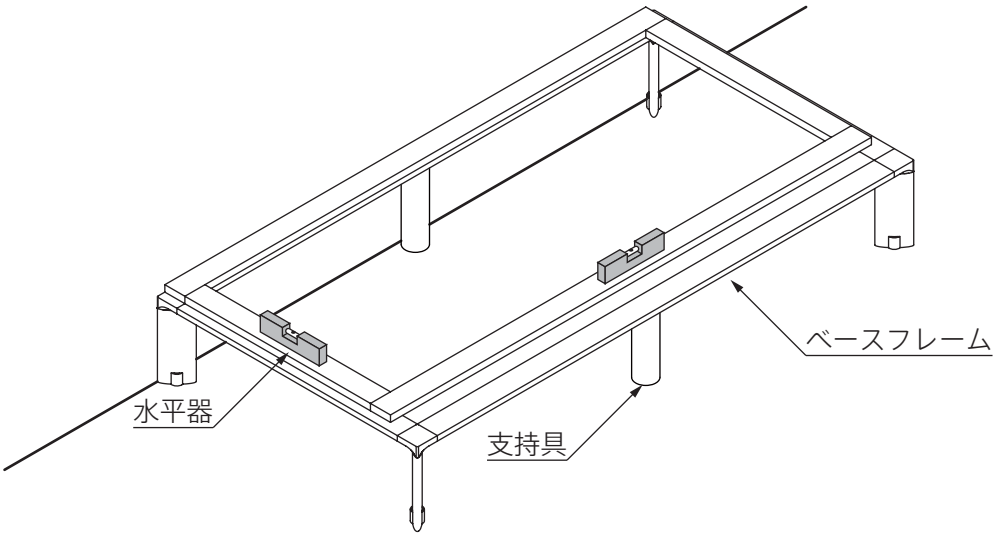
※コンクリート床、石床の場合、床面にあけた固定用穴の位置に合わせて取り付けます。

・ＩＮＯ　ＡＦを転倒防止部品に差し込みながら床面に設置します。



3 支持具の設置

・取付・設置の際に、ベースフレームがたるまないように、支持具で支えます。
　支持具はベースフレーム下で支え、７５０mmピッチ以下になるように設置します。
※支持具は、取付・設置が全て終了したら取り外します。
※イラストはCタイプを示す。



4 レベル調整、ＩＮＯ　ＡＦの固定

・ＩＮＯ　ＡＦのアジャスト部分を回して、レベルを調整します。
　■調整範囲　－０mm～＋１０mm

■Cタイプの場合

・ＩＮＯ　ＡＦ　Cタイプをアジャスト部品の上に設置し、本体が大きく傾かない様に調整しながら一番下まで締めます。（図１）
・一番下まで締めた状態を基準とし、低い場所のレベルを調整する。（図２）

図１

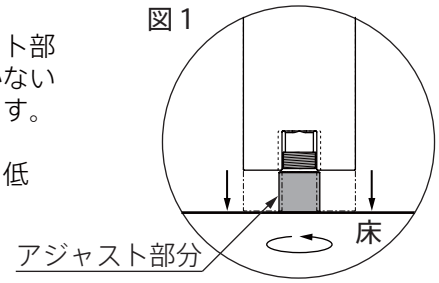
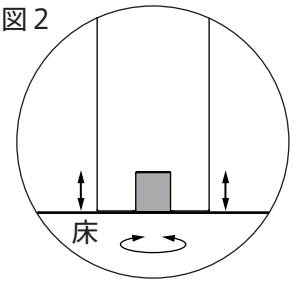


図２



■Sタイプの場合

・アジャスト部分を一番下まで締めた状態を基準とし、低い場所のレベルを調整する。ＡＦ本体とアジャスト部分の形状が揃うよう調整します。（図１）
・アジャスト部分の固定穴（１ヶ所）から六角穴止めネジ（棒先）にて固定します。（図２）

図１

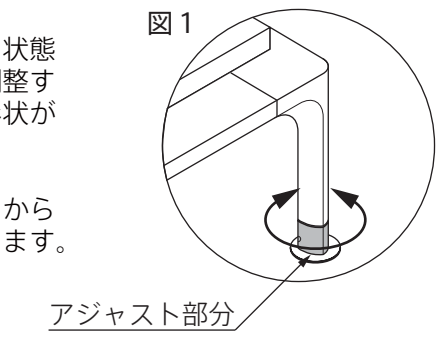
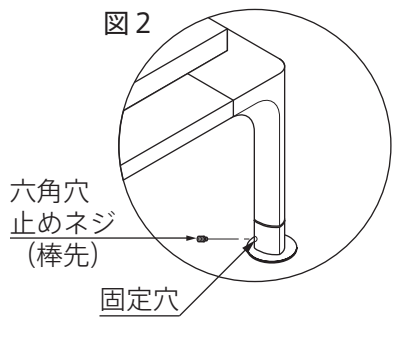
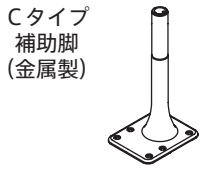


図２

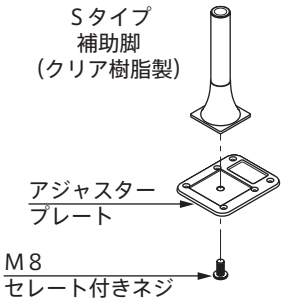


5 補助脚の取り付け

■Cタイプの場合
Cタイプの補助脚は、金属製クロームメッキタイプになります。
・ユニットを裏向けて、ユニット底板裏面の指定位置（「補助脚取付位置」を参照）に補助脚を取り付けます。補助脚の取り付け穴から、⊕バインドタッピンネジ４．０×１６にて固定します。

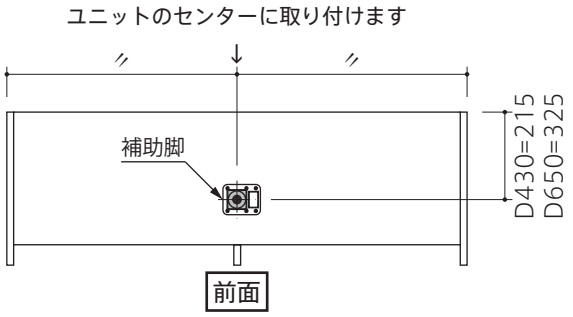


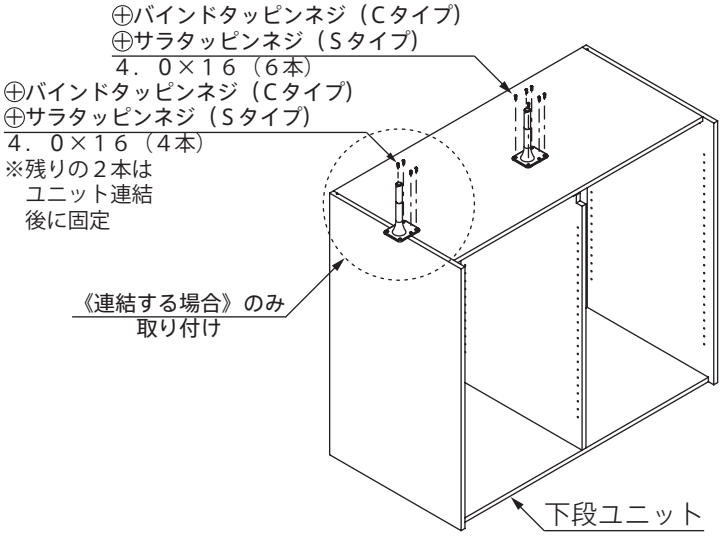
■Sタイプの場合
Sタイプの補助脚は、樹脂製クリアタイプになります。
・M８セレート付きネジを使用し、アジャスタープレートに補助脚を取り付けます。
・下段ユニット裏面の底板の指定位置（「補助脚取付位置」を参照）に補助脚を取り付けます。アジャスタープレートの取付穴から、⊕サラタッピンネジ４．０×１６にて固定します。



《単独置きの場合》

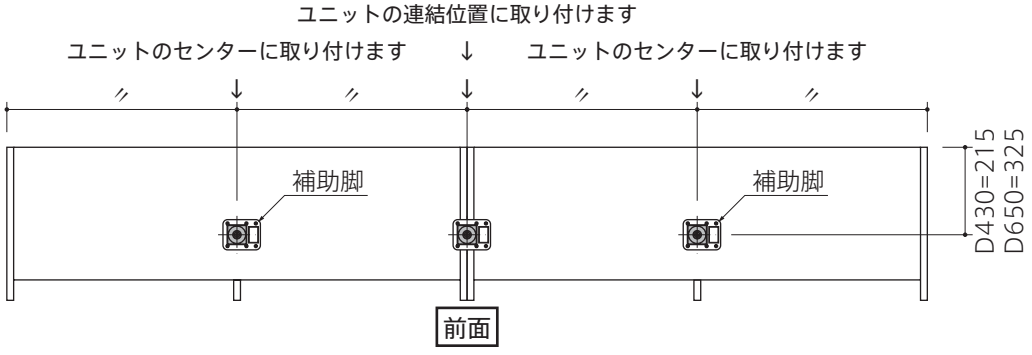
補助脚取付位置
(下段ユニット裏面)
［平面図］





《連結する場合》

補助脚取付位置
(下段ユニット裏面)
［平面図］



⑥ スライドコンセントの結線（家電収納タイプの場合）

⚠ 警告

電気工事は、関連する法令・規程に従って必ず「有資格者」が行ってください。

火災、感電の原因になることがあります。

・あらかじめ壁から出ている電源コードをユニットの電源コード取入口よりユニット内に引き込み（図１）、スペーサーのスライドコンセント取付穴から取り出します。（図２）
・スライドコンセントに付属のＰＣ接続端子を電源コードの先に取付け、スライドコンセントのＰＣ接続端子と接続します。（図３）
※スライドコンセントと電源コードの接続は、ＰＣ接続端子を使用せず、直接結線するかは、電気工事側で選択してください。
・余分な電源コードはスペーサー内へ戻しながら、スライドコンセントを取付穴に差し込み、取付けます。（図４）

図１

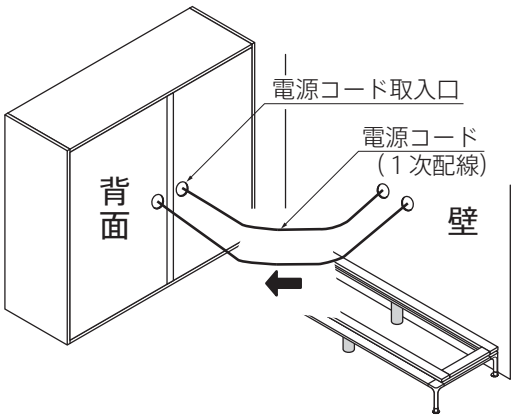


図２

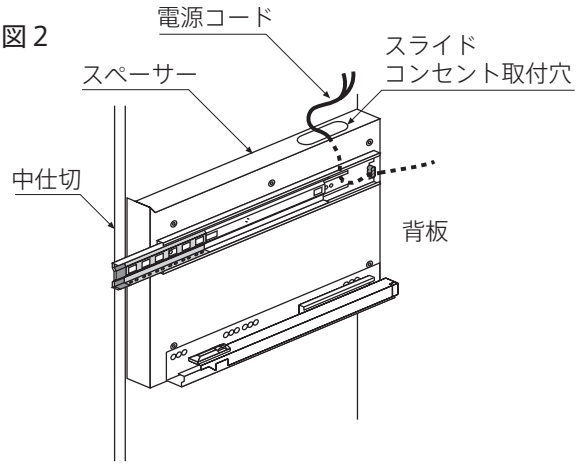


図３

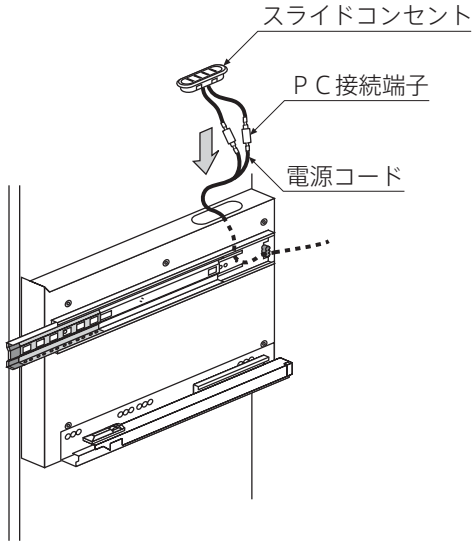
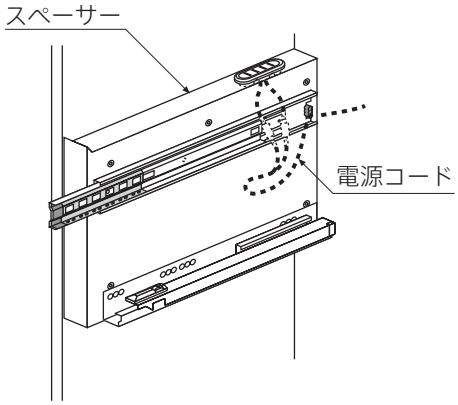


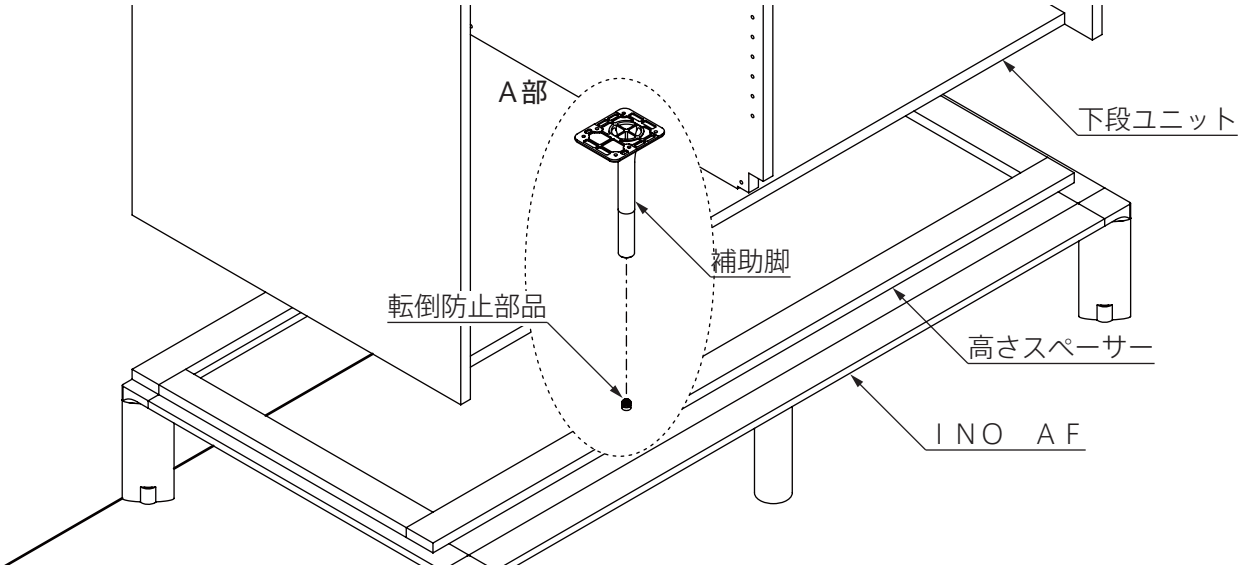
図４



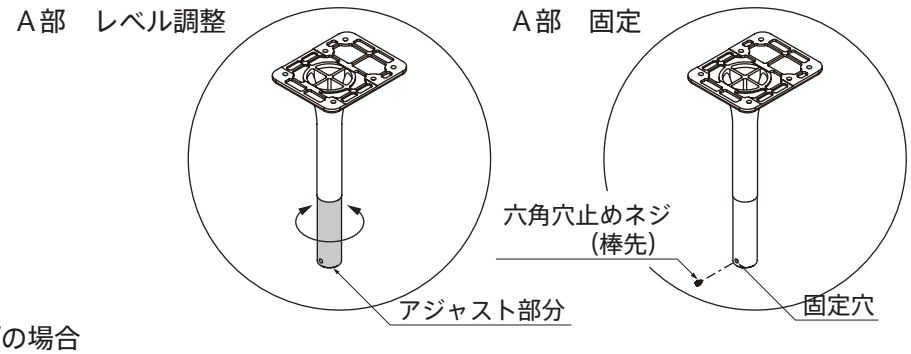
7 下段ユニットの設置、補助脚のレベル調整・固定

①ＩＮＯ　ＡＦの上に下段ユニットを設置します。
補助脚を転倒防止部品に差し込みながら、《サイドパネル無し》の場合は下段ユニット側面とＩＮＯ　ＡＦの側面を揃えて設置します。《サイドパネル有り》の場合は下段ユニット側面と高さスペーサー側面を揃えて設置します。
②補助脚のアジャスト部分を回して、レベルを調整します。
■調整範囲　－０mm～＋１０mm
③補助脚の固定穴から六角穴止めネジ（棒先）にて固定します。
※Ｃタイプの場合は固定穴１ヶ所、Ｓタイプの場合は固定穴２ヶ所で固定します。

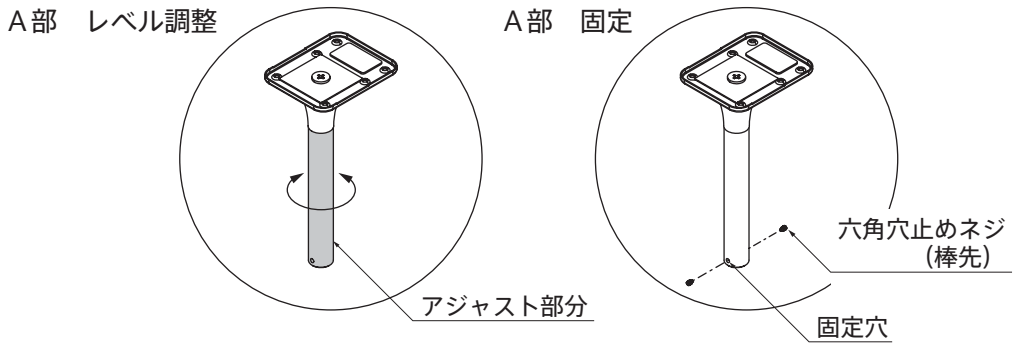
《単独置きの場合》※イラストはＣタイプを示す。



■Ｃタイプの場合



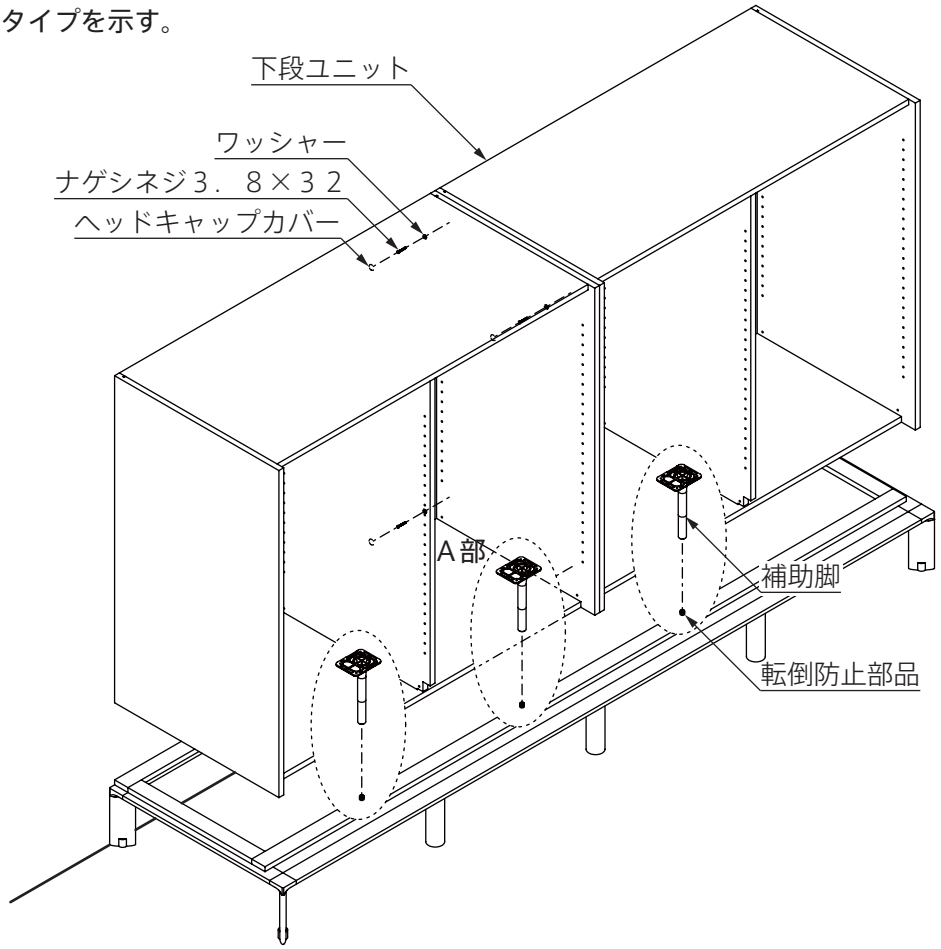
■Ｓタイプの場合



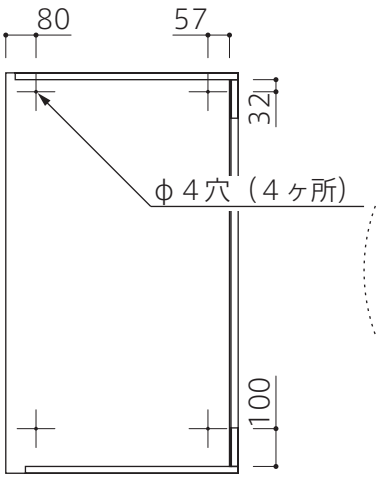
《連結する場合》

①ユニットを連結する場合、下段ユニット側板の指定位置に連結穴φ４をあけます。
　隣接する下段ユニットの側板前面を揃え、⊕ナゲシネジ３．８×３２にワッシャーを通して、下段ユニット内側から固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。
②補助脚のアジャスタープレートの残りの穴から、Ｃタイプの場合⊕バインドタッピンネジ４．０×１６（２本）
　Ｓタイプの場合⊕サラタッピンネジ４．０×１６（２本）にて固定します。
③補助脚のレベルを調整し、固定します。（「単独置きの場合」を参照）

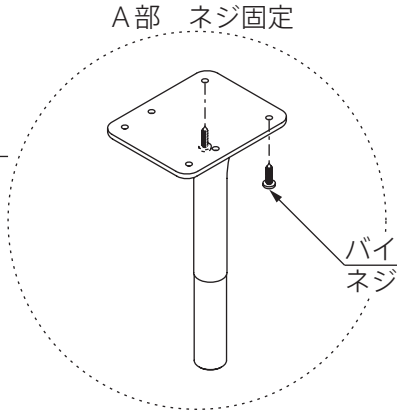
※イラストはＣタイプを示す。



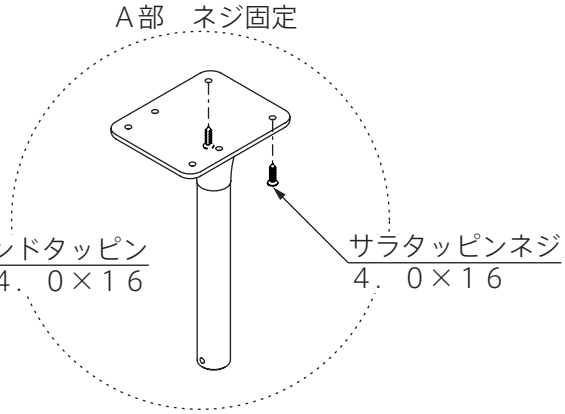
ユニット連結位置
［側面図］



■Ｃタイプの場合



■Ｓタイプの場合

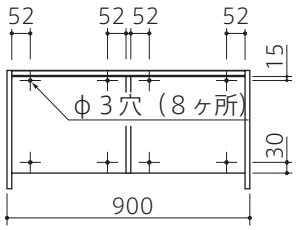


8 下段ユニットの固定

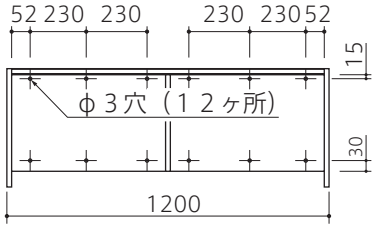
・下段ユニットをＩＮＯ　ＡＦの高さスペーサーに固定します。
下段ユニット外面と高さスペーサー外面を揃えて、下段ユニット内側より底板の指定位置に固定穴φ３をあけ、
⊕サラタッピンネジ４．０×３０にワッシャーを通して固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

下段ユニット固定位置［平面図］

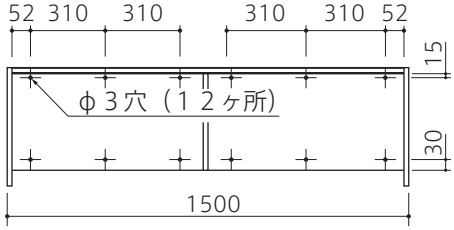
■MR☆N - 90TN★



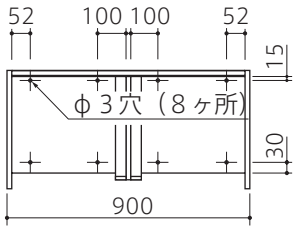
■MR☆N - 120TN★



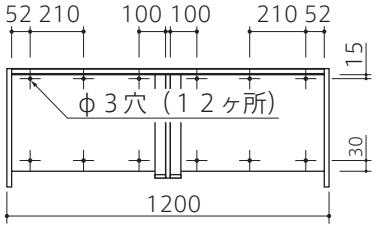
■MR☆N - 150TN★



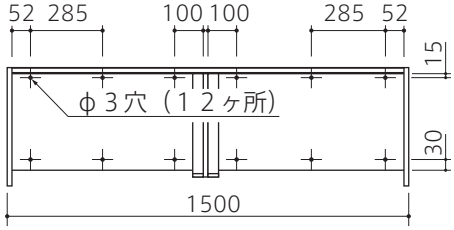
■MR☆N - 90HBAT★

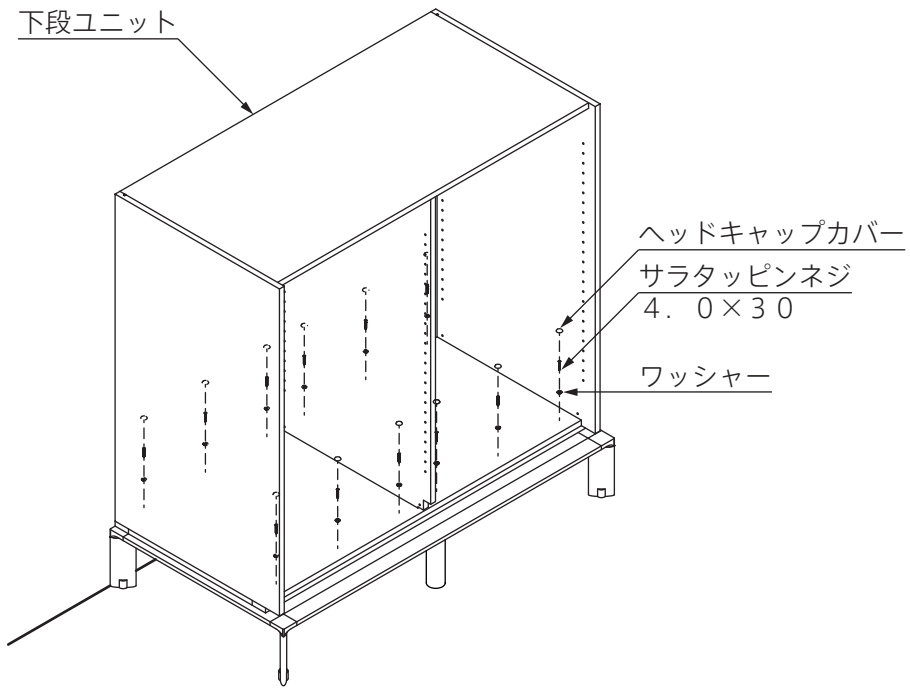


■MR☆N - 120HBAT★



■MR☆N - 150HBAT★

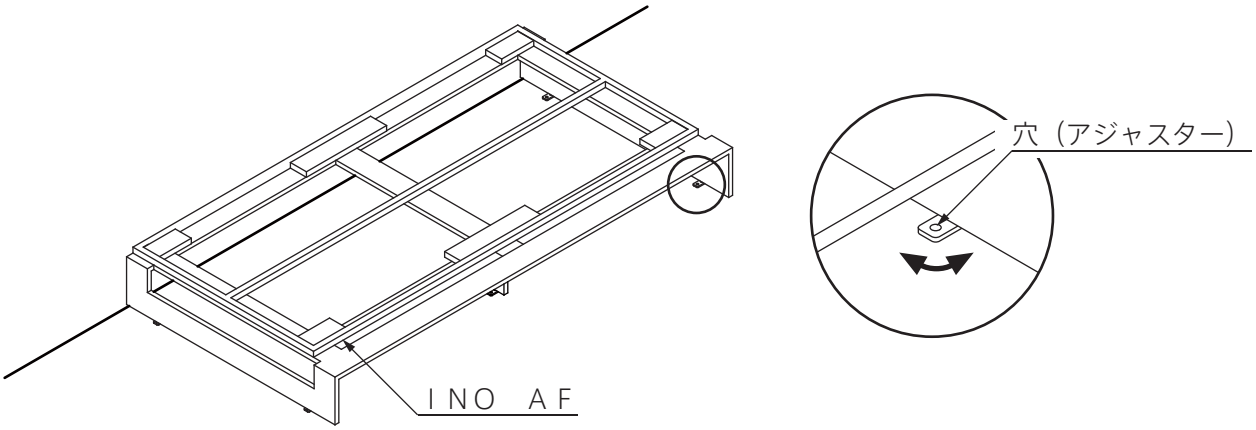




◎ＩＮＯ　ＡＦ　Ｆタイプの場合

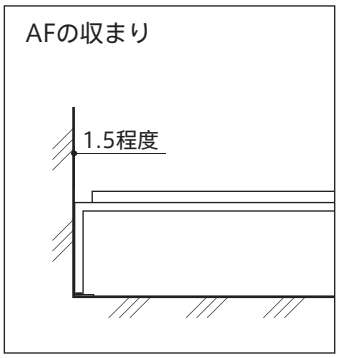
① ＩＮＯ　ＡＦの設置、レベル調整

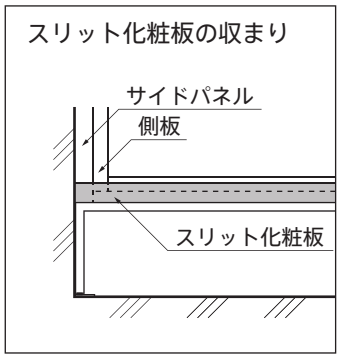
①ＩＮＯ　ＡＦを床面に設置します。
②ＩＮＯ　ＡＦのアジャスターにてレベルを調整します。
　　■調整範囲　－１．５mm～＋１０mm
※両端のアジャスターは内側に穴がくるように調整します。



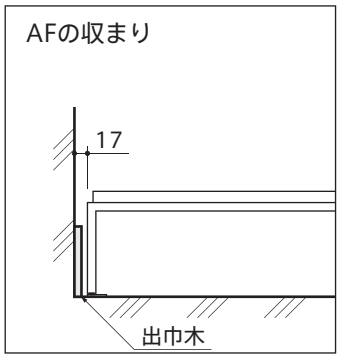
［**正面図**］

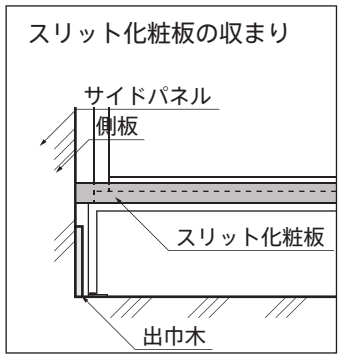
■側面の壁に出巾木がない場合





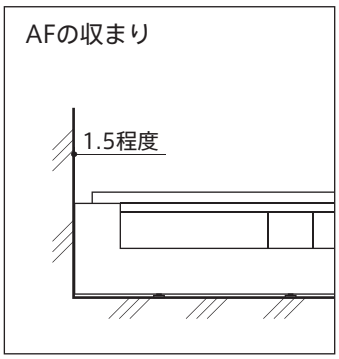
■側面の壁に出巾木がある場合

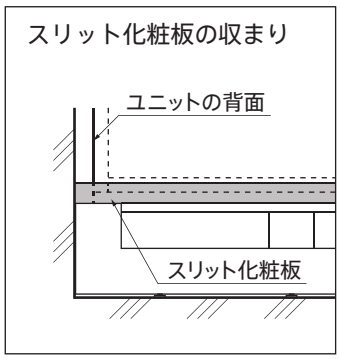




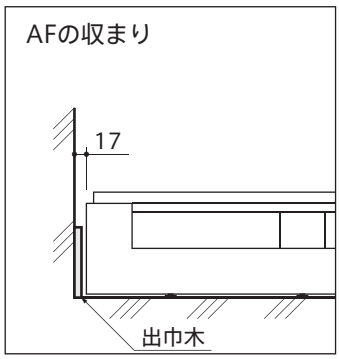
［**側面図**］

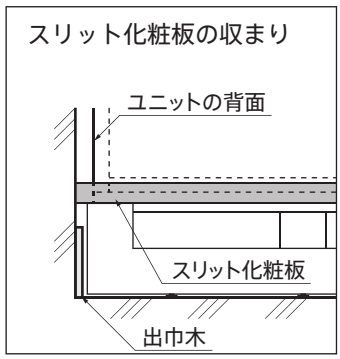
■背面の壁に出巾木がない場合





■背面の壁に出巾木がある場合

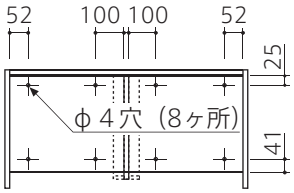


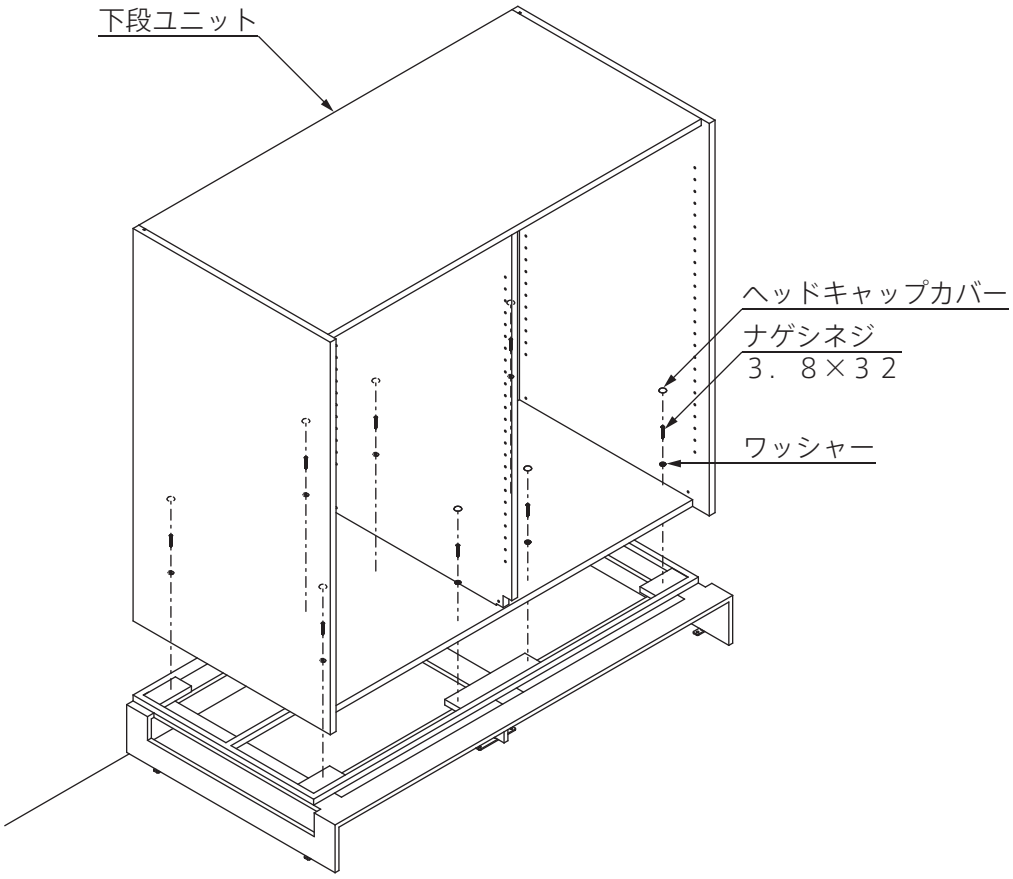


② 下段ユニットの設置・固定

※ユニットを連結する場合は、ＩＮＯ　ＡＦ　Ｃタイプ／Ｓタイプを参照のこと。
・ＩＮＯ　ＡＦの上に下段ユニットを設置します。
・下段ユニットをＩＮＯ　ＡＦの下地に固定します。
　下段ユニット外面とＩＮＯ　ＡＦの高さスペーサー外面を揃えて、下段ユニット内側より底板の指定位置に固定穴φ４をあけ、⊕ナゲシネジ３．８×３２にワッシャーを通して、下段ユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

下段ユニット固定位置［平面図］





◎ＣＯＲＥ　ＡＦの場合

1 ＡＦの取り付け

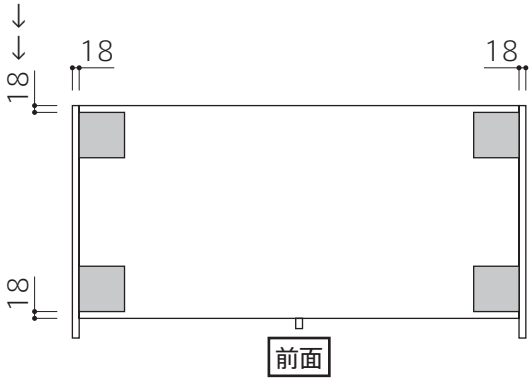
《単独置き／サイドパネル無しの場合》

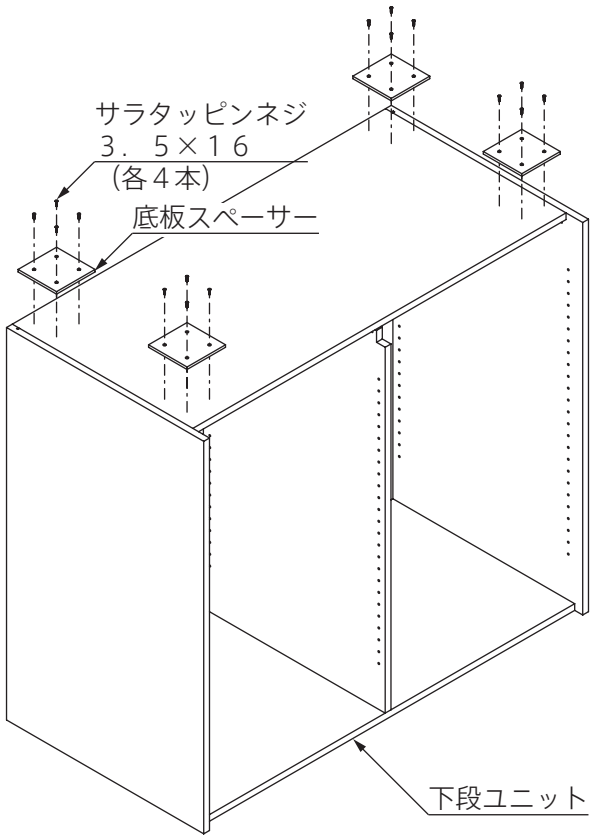
■底板スペーサーの取り付け

・下段ユニットを裏返し、底板裏面の指定位置に＋サラタッピンネジ３．５×１６にて底板スペーサーを取り付けます。

※側面の壁に出巾木がある場合は、サイドパネル無しに薄型フィラーを使用してください。

壁面の壁に出巾木がある場合、背面側ＡＦは前面側へ最大３５mmまでずらせます。



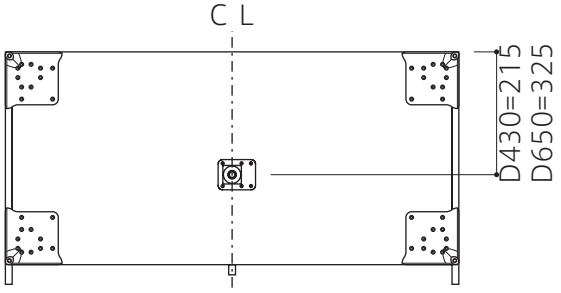


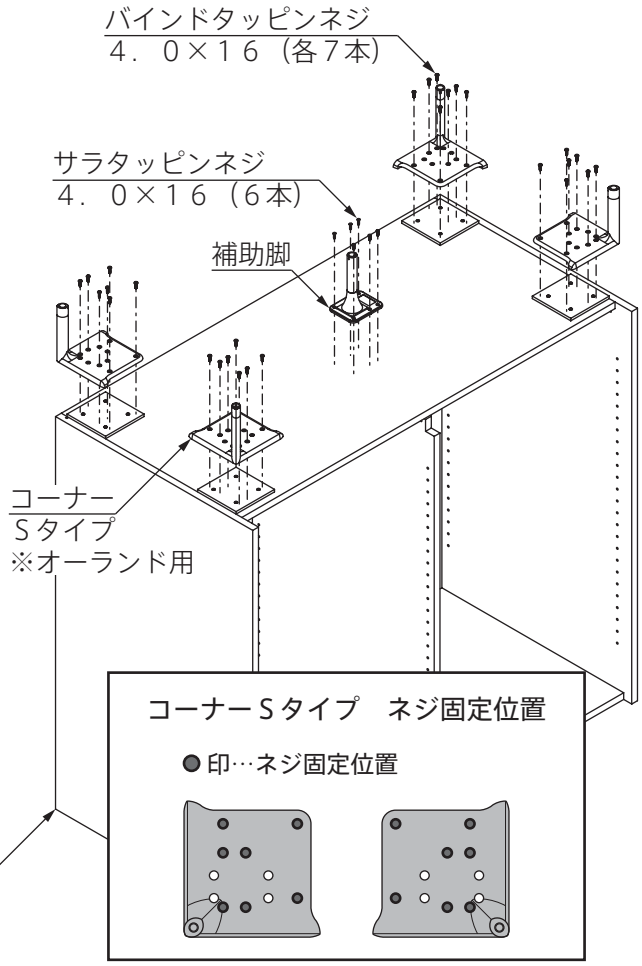
■ＣＯＲＥ　ＡＦ、アジャストパーツ取り付け

・底板スペーサーの外角に合わせて＋バインドタッピンネジ４．０×１６にてコーナーＳタイプ（オーランド用）を取り付けます。

・下段ユニット中央の指定位置に＋サラタッピンネジ４．０×１６にて補助脚を取り付けます。

※補助脚の組み立てについては、２７ページ「補助脚の取り付け」を参照のこと。





《単独置き／サイドパネル有りの場合》

■ＣＯＲＥ　ＡＦ、アジャストパーツ取り付け

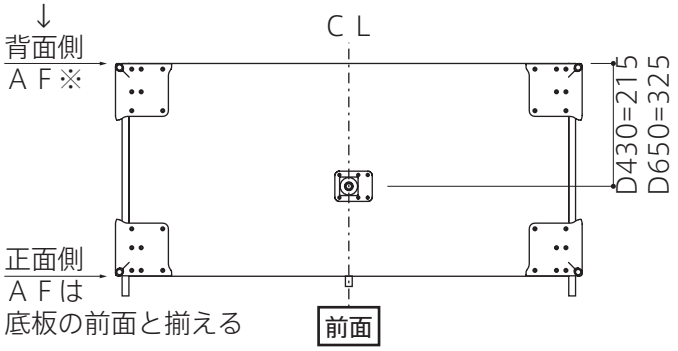
・下段ユニットを裏返し、底板裏面の指定位置に＋バインドタッピンネジ４．０×１６にてコーナーＲ／Ｌタイプを取り付けます。

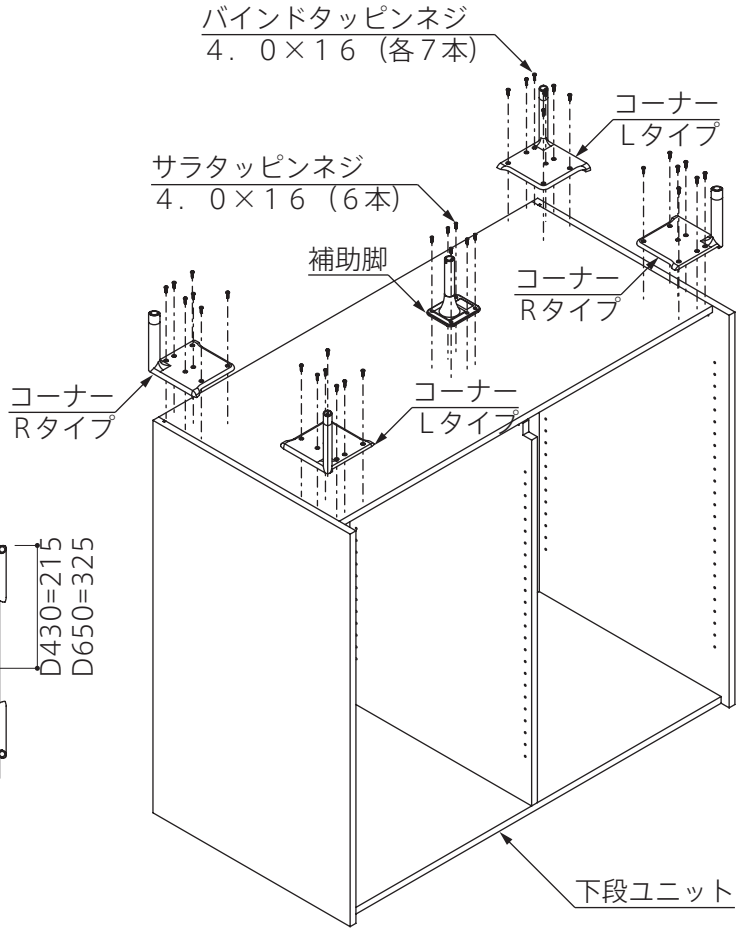
・下段ユニット中央の指定位置に＋サラタッピンネジ４．０×１６にて補助脚を取り付けます。

※側面の壁に出巾木がある場合は、サイドパネル無しで対応してください。

※補助脚の組み立てについては、２７ページ「補助脚の取り付け」を参照のこと。

壁面の壁に出巾木がある場合、背面側ＡＦは前面側へ最大１７mmまでずらせます。



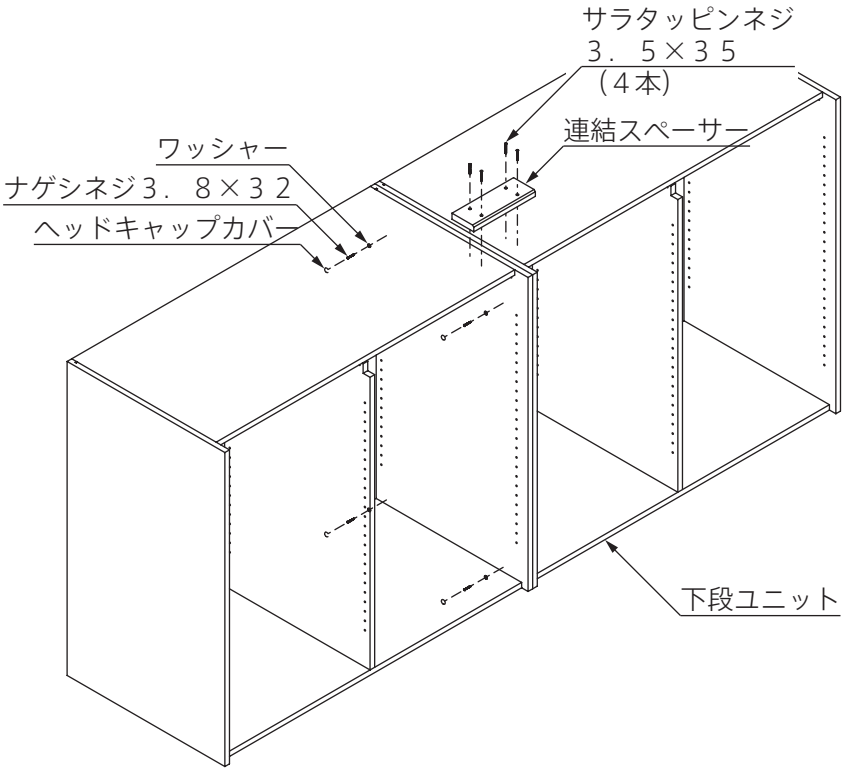


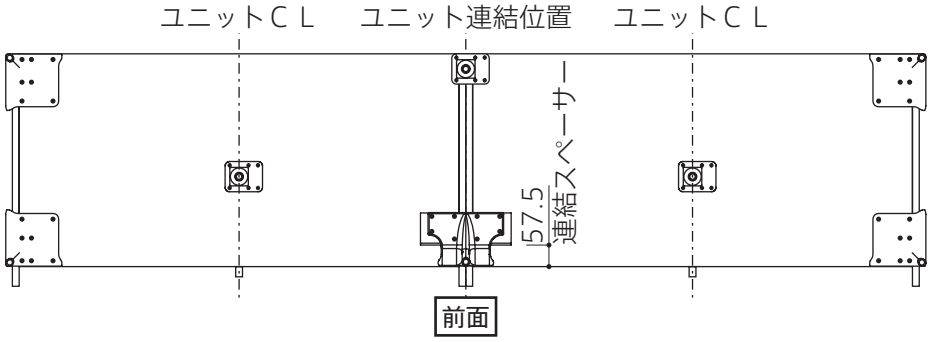
《連結する場合》

■ユニット連結、連結スペーサー取付け

・下段ユニットを裏返し、下段ユニット側板の指定位置にユニット連結穴φ４をあけます。**（穴位置Ｐ３０参照）**
隣接する下段ユニットの側板前面を揃え、＋ナゲシネジ３．８×３２にワッシャーを通して、下段ユニット側板から固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

・下段ユニット底板の連結部分の指定位置に＋サラタッピンネジ３．５×３５にて連結スペーサーを取付けます。





■ＣＯＲＥ　ＡＦ、補助脚取付け

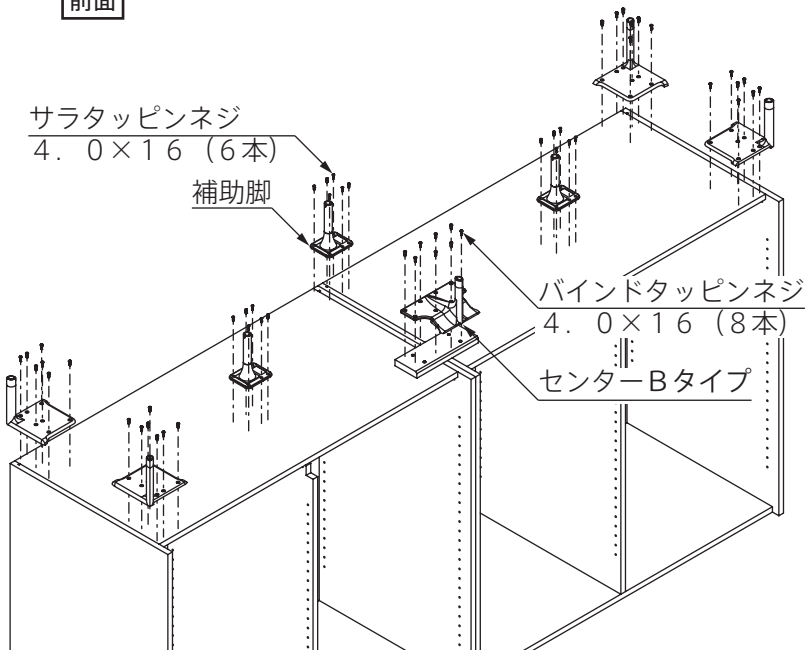
・底板スペーサーの外角に合わせて、＋バインドタッピンネジ４．０×１６にてコーナー脚を取り付けます。
（Ｐ３４、３５参照）

・下段ユニット連結部分の連結スペーサーの指定位置に＋バインドタッピンネジ４．０×１６にてセンターＢタイプを取り付けます。

・各下段ユニット中央の指定位置と下段ユニット連結部分の指定位置に＋サラタッピンネジ４．０×１６にて補助脚を取り付けます。

※コーナー脚の取り付けは単独置きを参照してください。

※イラストはサイドパネル有りの場合を示す。



② 下段ユニットの設置、レベル調整

《単独置き、連結する場合共通》

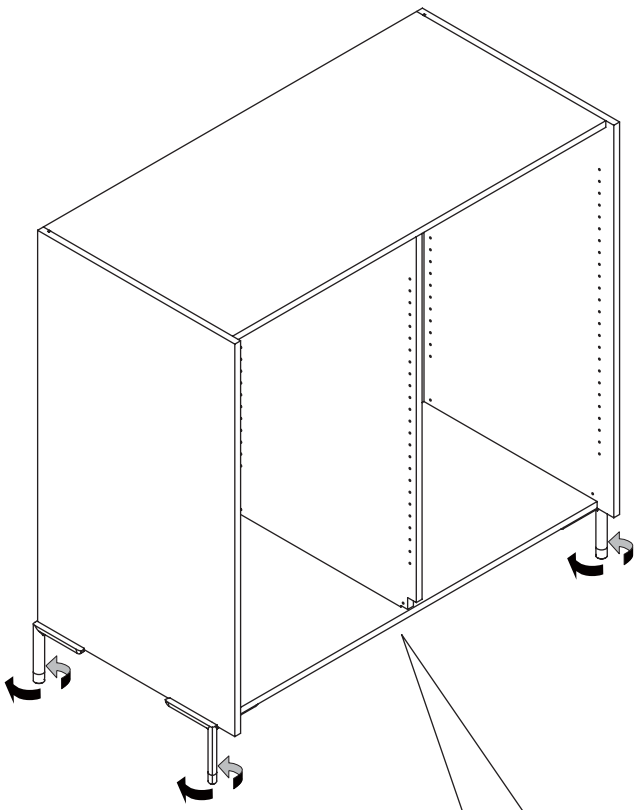
■ＣＯＲＥ　ＡＦ、アジャストパーツの調整

注意

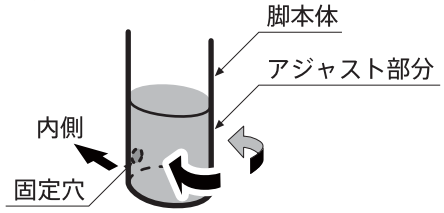
ユニットは脚を軸にして起こしたり、引きずらないでください。

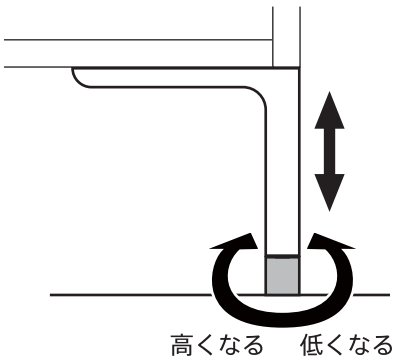
床を傷つけたり、ユニットを破損する恐れがあります。

・下段ユニットを元に戻し、床面を置いてください。
・底板の高さや水平を調整ください。

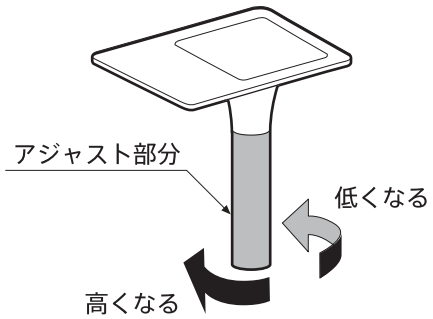


ＣＯＲＥ　ＡＦの調整
・アジャスト部分を手で回して調整します。
　■調整範囲　－０mm～＋１０mm
・アジャスト部分の固定穴が見えないように内側へ向けてください。
・脚本体とアジャスト部分の形状が揃うように調整してください。





補助脚の調整
・アジャスト部分を手で回して調整します。
　■調整範囲　－０mm～＋１０mm
※調整は０mmを基準として、最小範囲で行ってください。



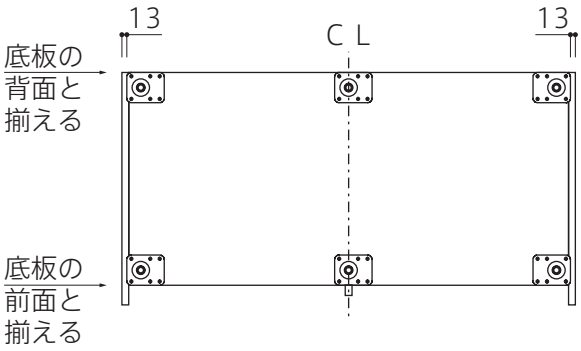
◎ＢＡＹ　ＡＦの場合

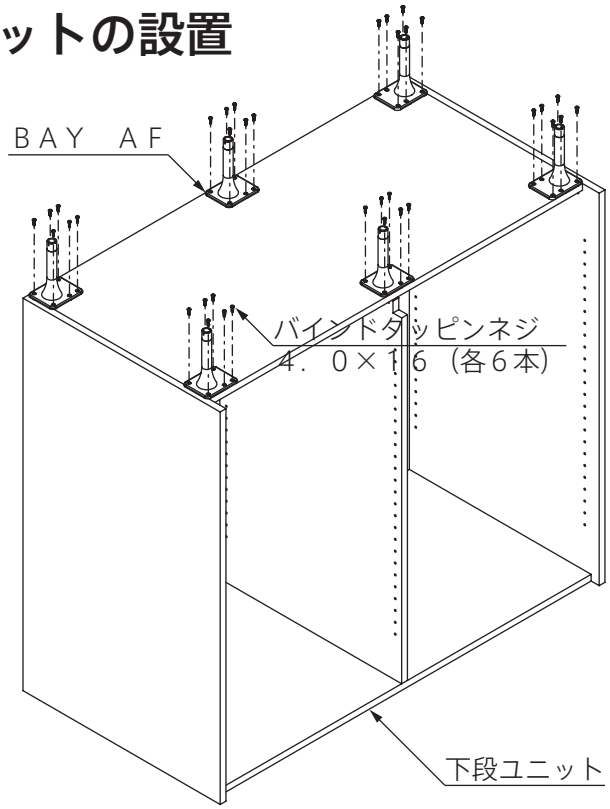
1 ＡＦの取り付け　下段ユニットの設置

《単独置きの場合》

■ＢＡＹ　ＡＦの取り付け

・下段ユニットを裏返し、底板裏面の指定位置に＋バインドタッピンネジ４．０×１６にて固定します。



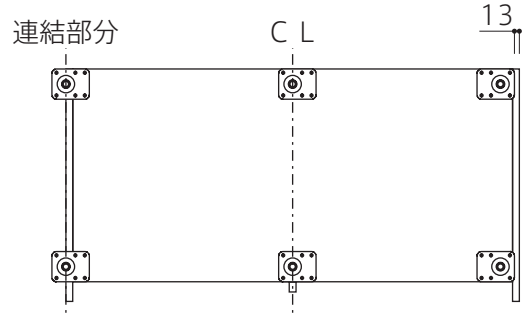


《連結する場合》

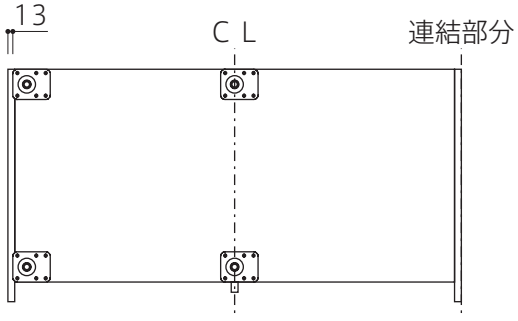
■ＢＡＹ　ＡＦの取り付け

・下段ユニットを裏返し、底板裏面の指定位置に＋バインドタッピンネジ４．０×１６にて固定します。

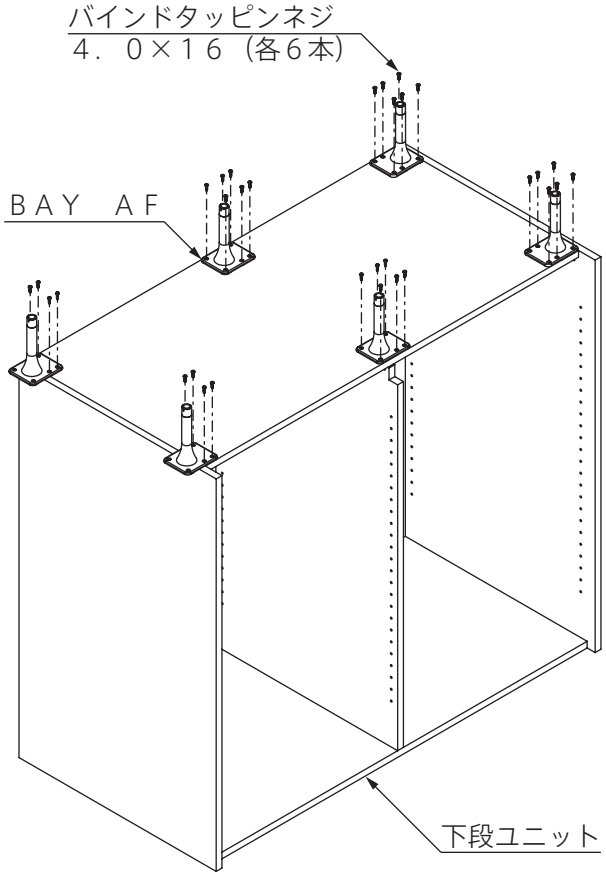
【連結されるユニット】



【連結するユニット】



※３連結以上の連結部分は連結されるユニットの連結部分を参照に取付けてください。



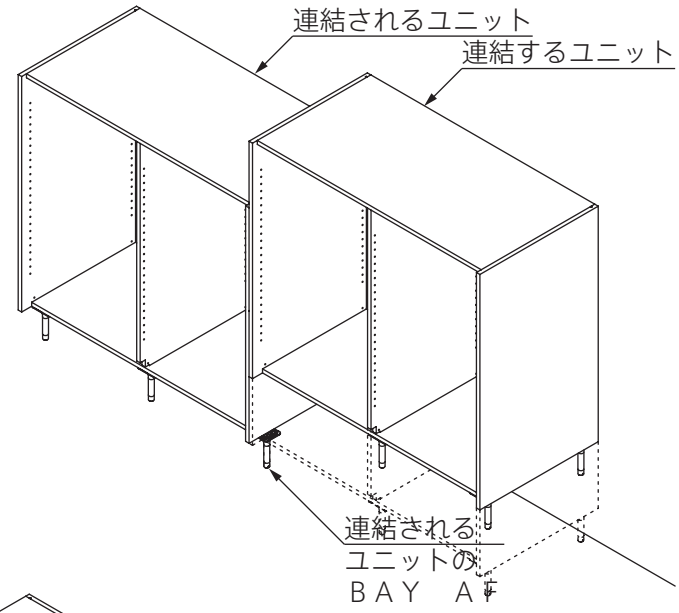
② 下段ユニットの設置、レベル調整

《連結する場合》

■下段ユニット設置

・下段ユニット側板の指定位置にユニット連結穴φ４をあけます。
（穴位置Ｐ３０参照）

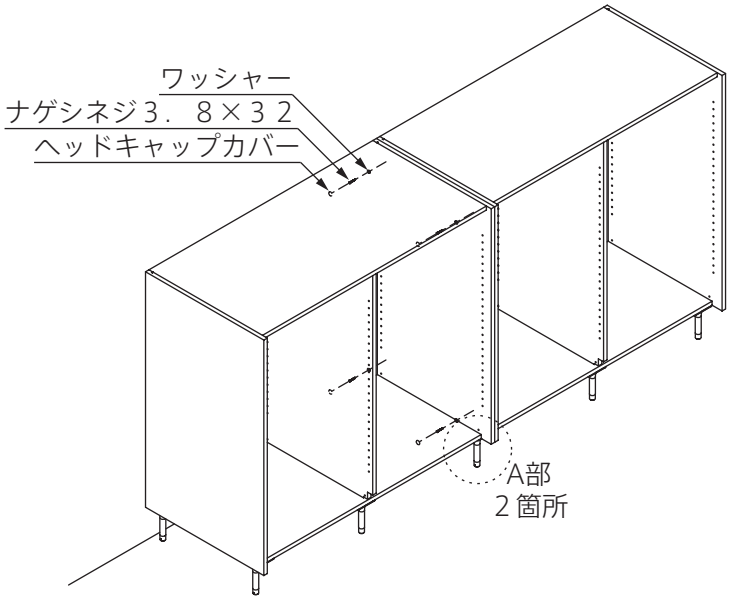
・連結されるユニットのＢＡＹ　ＡＦに連結するユニットを乗せます。

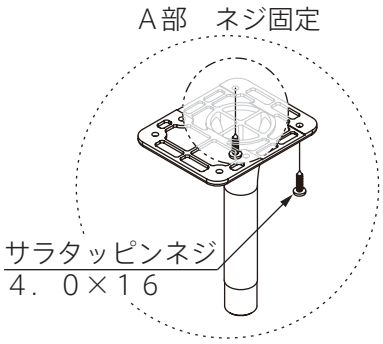


■ユニット連結

・隣接する下段ユニットの側板前面を揃え、＋ナゲシネジ３．８×３２にワッシャーを通して、下段ユニット側板から固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

・ＢＡＹ　ＡＦの残りの穴から、各ＡＦを＋バインドタッピンネジ４．０×１６（２本）で固定します。





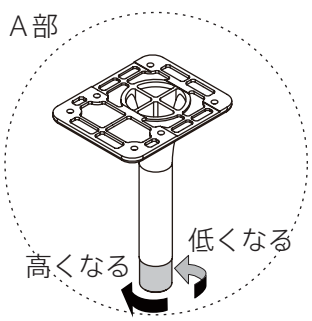
《単独置き、連結する場合共通》

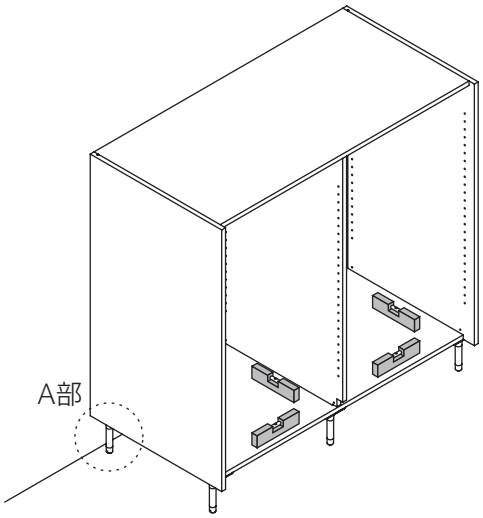
■ＢＡＹ　ＡＦの調整

・ＢＡＹ　ＡＦのアジャスト部分を回し、レベルを調整します。

■調整範囲　－０mm～＋１０mm

※アジャスト部分の固定穴は見えないように内側に向けて調整します。

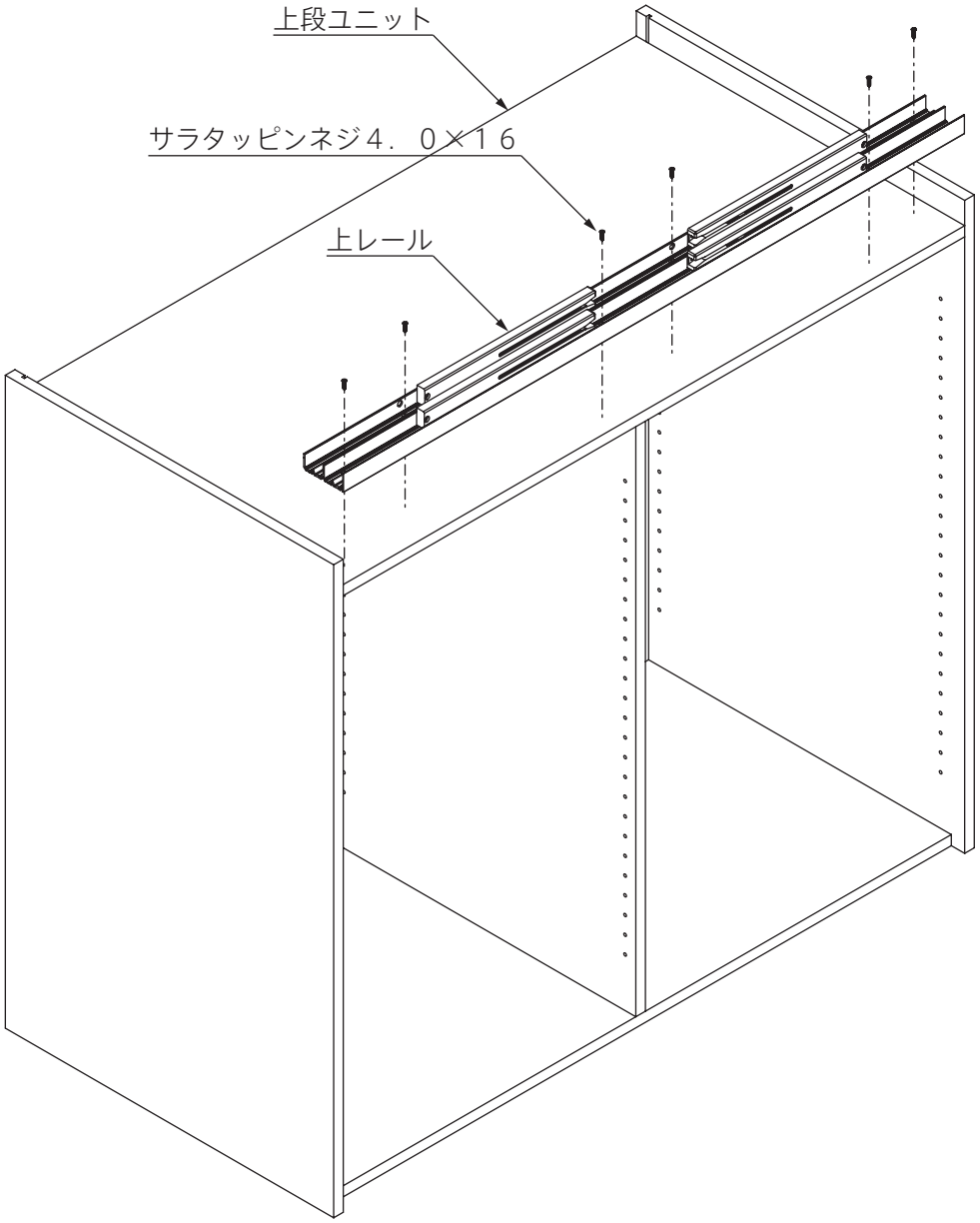




上段ユニットの準備

① 上レールの固定

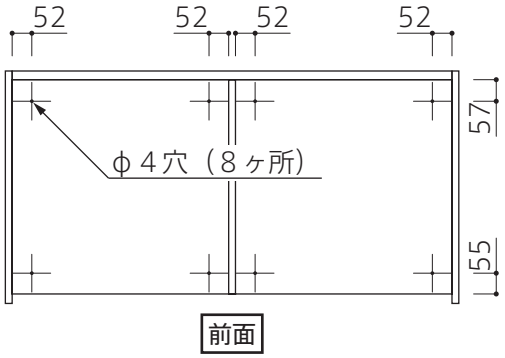
・上段ユニット天板の取付穴に上レールの取付穴を合わせ、＋サラタッピンネジ４．０×１６にて固定します。



上段ユニットの設置、固定

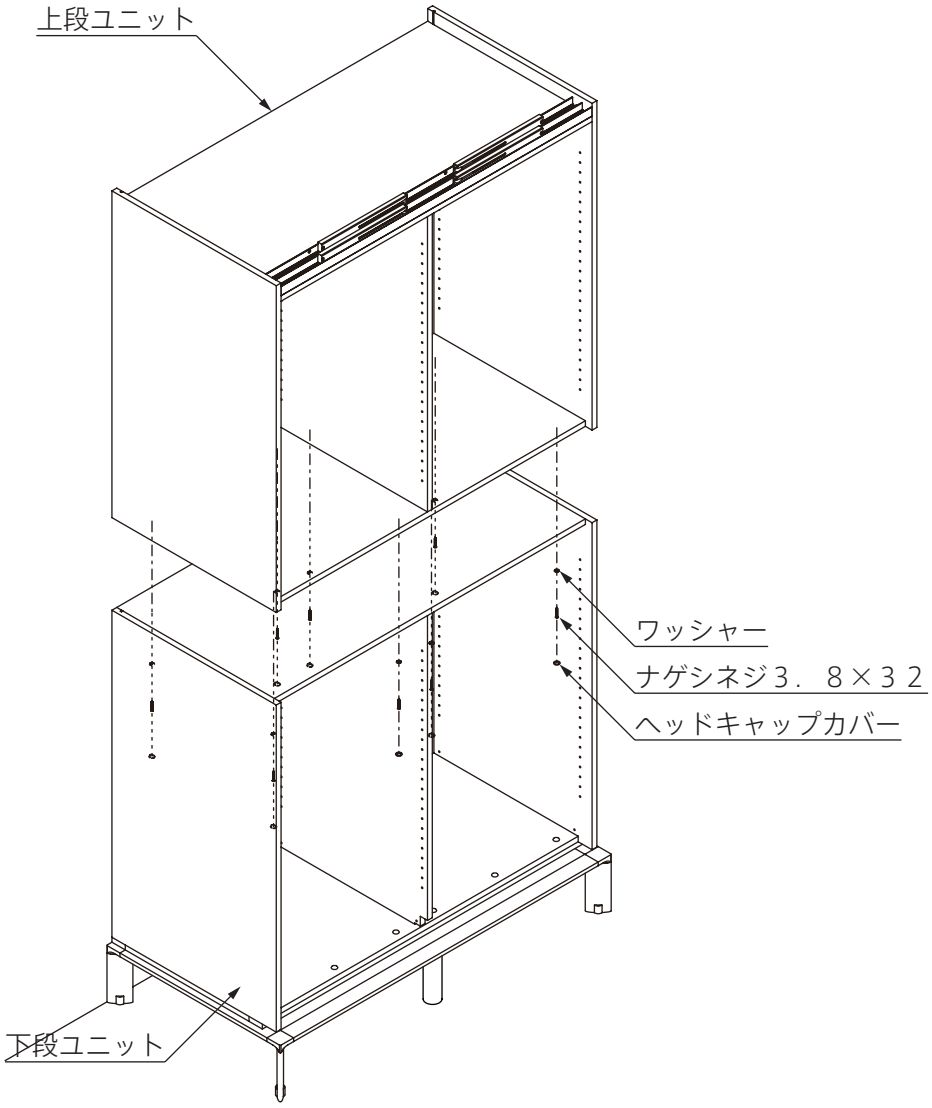
① 上段ユニット設置

・下段ユニット天板の指定位置に固定穴φ４をあけます。
・下段ユニットの上に上段ユニットをのせます。



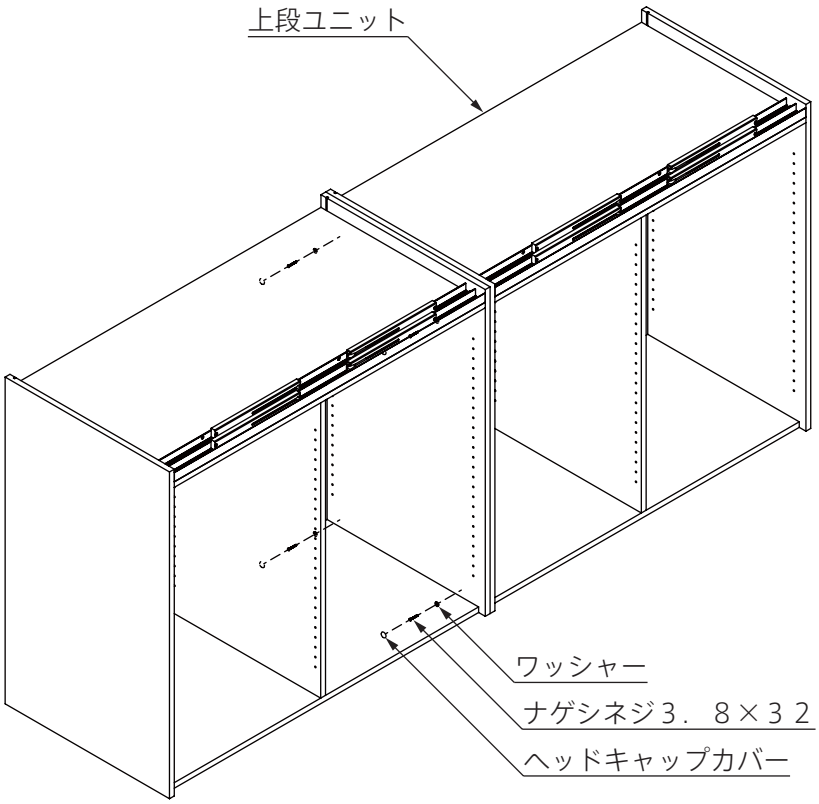
② 上段ユニット固定

・上段ユニットと下段ユニットの側板前面を揃え、＋ナゲシネジ３．８×３２にワッシャーを通して、下段ユニット内側から上段ユニットと固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。
※上段ユニットと下段ユニットの間にすき間ができないように連結してください。

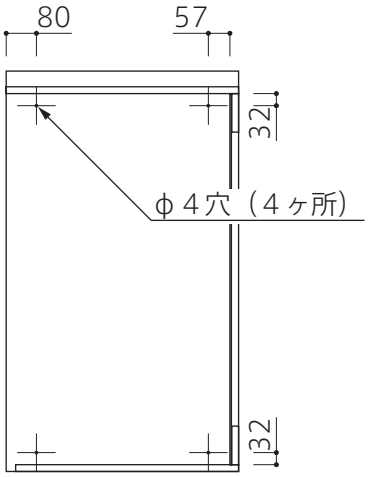


《連結する場合》

・ユニットを連結する場合、上段ユニット側板の指定位置に連結穴φ４をあけます。
隣接する上段ユニットの側板前面を揃え、＋ナゲシネジ３．８×３２にワッシャーを通して、上段ユニット内側から固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。



ユニット連結位置
［側面図］



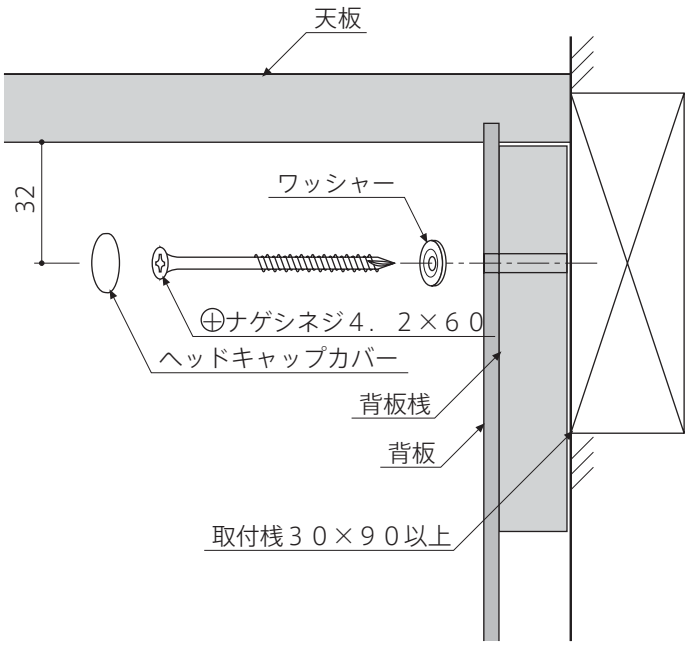
ユニットの壁面固定

⚠ 警告

取付・設置は、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。

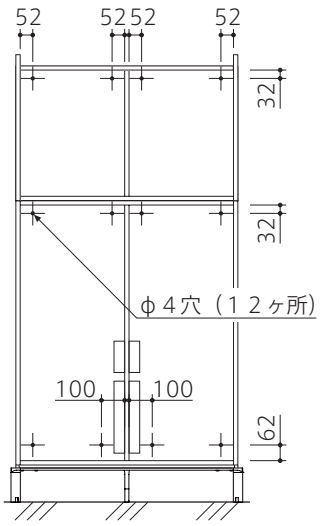
転倒して、ケガをする恐れがあります。

※ユニット本体を固定する前に、ユニットのレベル調整を必ず行ってください。
・ユニット背板の指定位置に固定穴φ４をあけ、＋ナゲシネジ４．２×６０にワッシャーを通して、壁面に固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

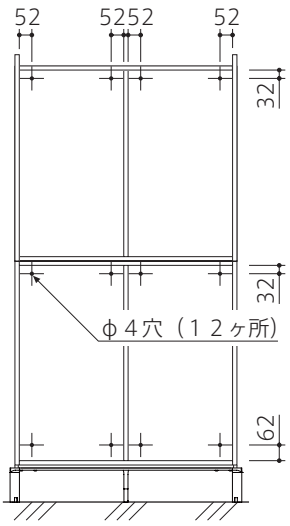


壁面固定位置［正面図］

家電収納タイプ



棚板タイプ



スリット化粧板の取り付け

◎ＩＮＯ　ＡＦサイドパネル有りの場合

❶スペーサ―の取り付け

・側板前面下部のＩＮＯ　ＡＦとの間にスペーサ―（１８mm×１６mm×５２mm）を取り付けます。

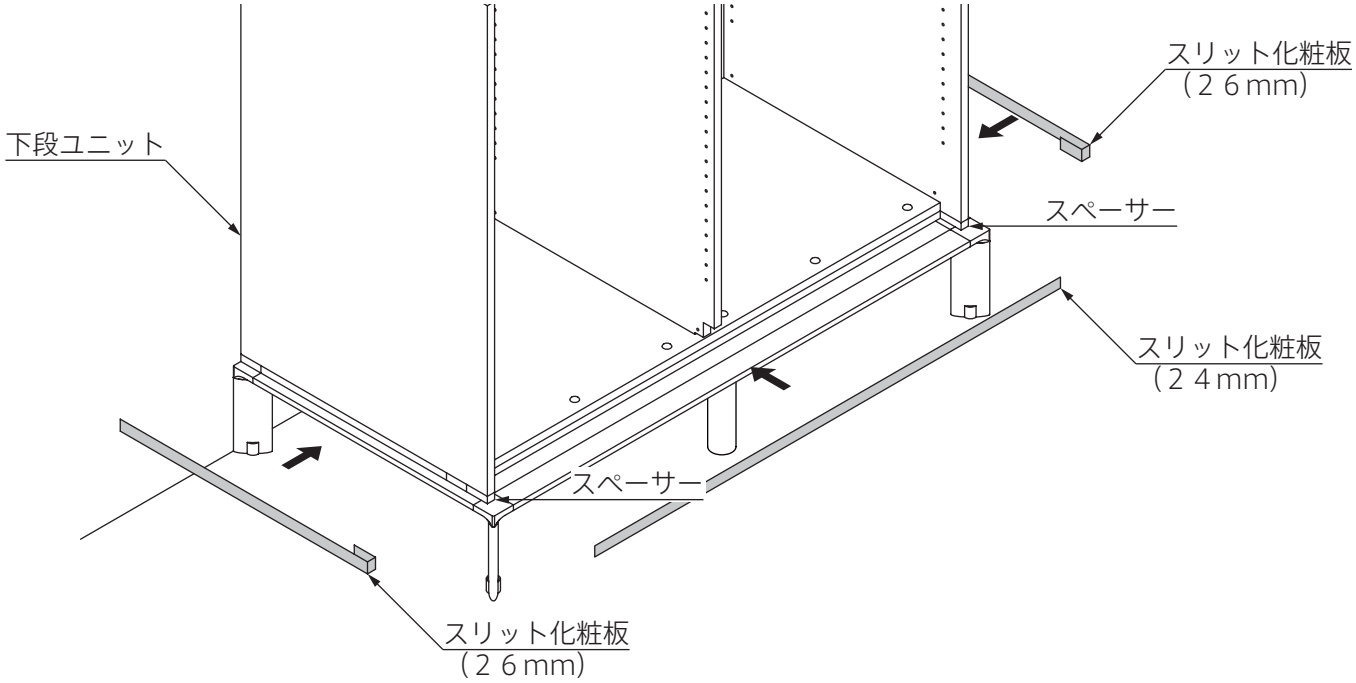
❷スリット化粧板（２６mm）の貼り付け

※スリット化粧板を取り付ける前に、取り付ける表面をきれいに拭き取ってください。
・スリット化粧板（２６mm）を下段ユニットの奥行に合わせてカットします。
・スリット化粧板（２６mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、ＩＮＯ　ＡＦの高さスペーサー側面下端に合わせて貼り付けます。（Ａ－１部詳細図、スリット化粧板取付順①②）
・スリット化粧板（２６mm）を側板内側の前端から底板までの長さにカットします。
・スリット化粧板（２６mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、側板内側のスペーサ―下端に合わせて貼り付けます。（Ａ－１・２部詳細図、スリット化粧板取付順③④）
・スリット化粧板（２６mm）を側板木口に合わせてカットします。
・スリット化粧板（２６mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、側板木口のスペーサ―下端に合わせて貼り付けます。（Ａ－１・２部詳細図、スリット化粧板取付順⑤⑥）
※ユニット側面に壁がくる場合は、スリット化粧板（２６mm）を壁までのばしてください。また、壁側の奥行方向のスリット化粧板は不要です。（Ａ－２部詳細図）

❸スリット化粧板（２４mm）の貼り付け

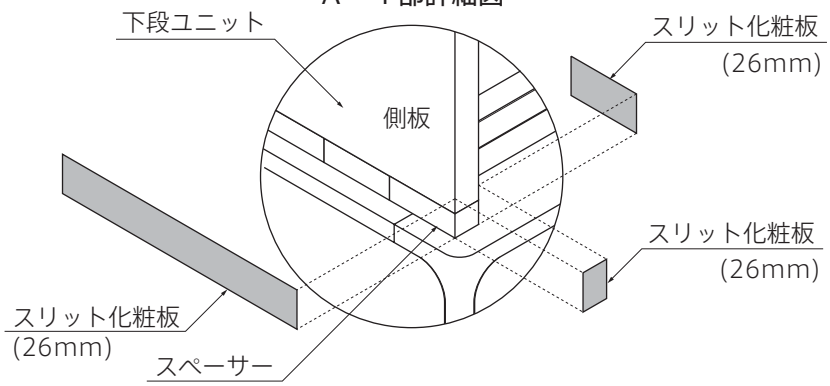
・スリット化粧板（２４mm）を底板前面に合わせてカットします。
・スリット化粧板（２４mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、ＩＮＯ　ＡＦの高さスペーサ―前面に合わせて貼り付けます。（Ａ－１・２部詳細図、スリット化粧板取付順⑦）

※コーナー部分は間口方向が前面にくるように合わせてください。
※一度貼ったら剥がしにくいため、しっかりと位置出しを行ってから貼り付けてください。
※貼り付け後は、両面テープがしっかり貼り付くようにスリット化粧板を押さえてください。



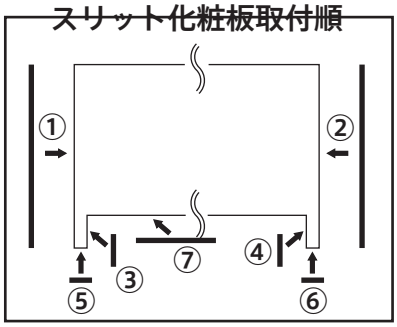
■ユニット側面がオープンの場合

Ａ－１部詳細図



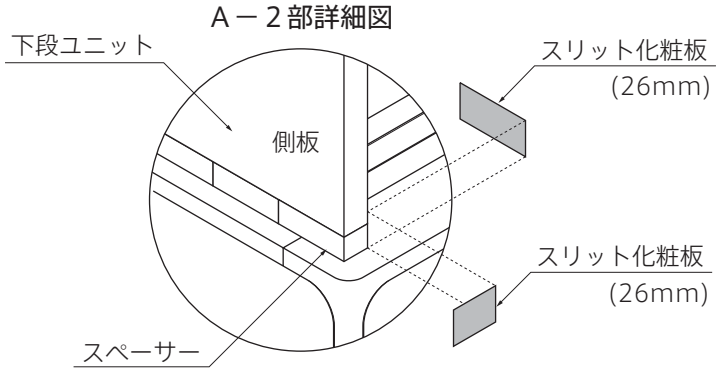
※⑤⑥⑦番目に取り付けるスリット化粧板は、①②③④番目に取り付けるスリット化粧板の厚みを考慮してカットしてください。

スリット化粧板取付順

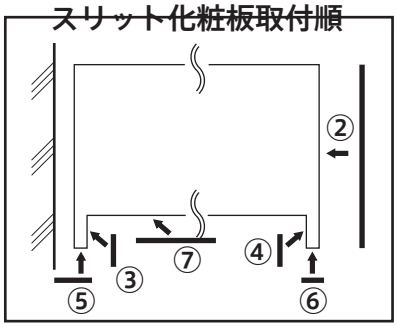


■ユニット側面に壁がくる場合

Ａ－２部詳細図



スリット化粧板取付順



※①は取り付け不要です。

スリット化粧板の取り付け

◎ＩＮＯ　ＡＦサイドパネル無しの場合

❶スペーサ―の取り付け

・側板前面下部のＩＮＯ　ＡＦとの間にスペーサ―（１２mm×１６mm×５０mm）を取り付けます。

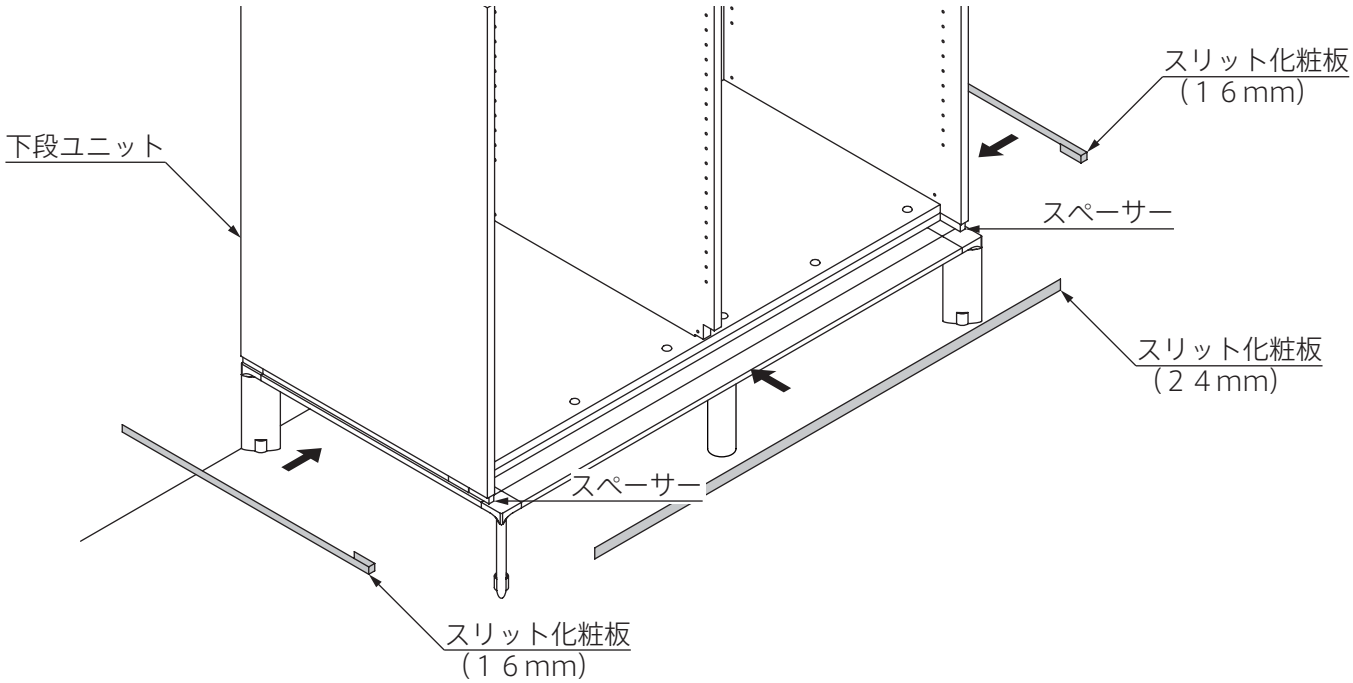
❷スリット化粧板（１６mm）の貼り付け

※スリット化粧板を取り付ける前に、取り付ける表面をきれいに拭き取ってください。
・スリット化粧板（１６mm）を下段ユニットの奥行に合わせてカットします。
・スリット化粧板（１６mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、ＩＮＯ　ＡＦの高さスペーサー側面下端に合わせて貼り付けます。（Ａ－１部詳細図、スリット化粧板取付順①②）
・スリット化粧板（１６mm）を側板内側の前端から底板までの長さにカットします。
・スリット化粧板（１６mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、側板内側のスペーサ―下端に合わせて貼り付けます。（Ａ－１・２部詳細図、スリット化粧板取付順③④）
・スリット化粧板（１６mm）を側板木口に合わせてカットします。
・スリット化粧板（１６mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、側板木口のスペーサ―下端に合わせて貼り付けます。（Ａ－１・２部詳細図、スリット化粧板取付順⑤⑥）
※ユニット側面に壁がくる場合は、スリット化粧板（１６mm）を壁までのばしてください。また、壁側の奥行方向のスリット化粧板は不要です。（Ａ－２部詳細図）

❸スリット化粧板（２４mm）の貼り付け

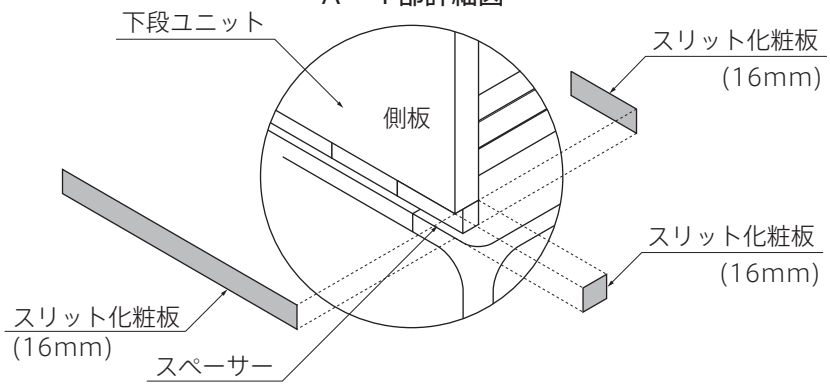
・スリット化粧板（２４mm）を底板前面に合わせてカットします。
・スリット化粧板（２４mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、ＩＮＯ　ＡＦの高さスペーサ―前面に合わせて貼り付けます。（Ａ－１・２部詳細図、スリット化粧板取付順⑦）

※コーナー部分は間口方向が前面にくるように合わせてください。
※一度貼ったら剥がしにくいため、しっかりと位置出しを行ってから貼り付けてください。
※貼り付け後は、両面テープがしっかり貼り付くようにスリット化粧板を押さえてください。



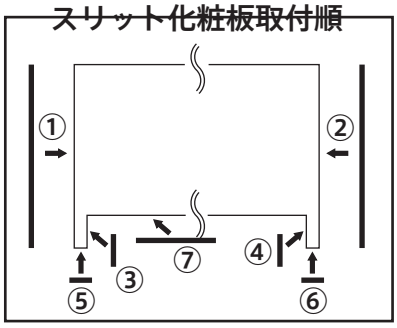
■ユニット側面がオープンの場合

Ａ－１部詳細図



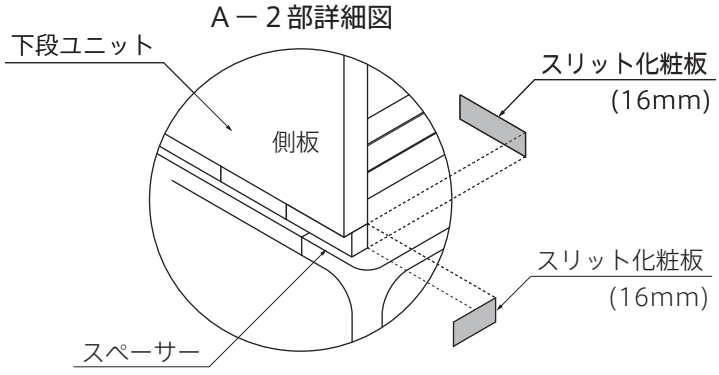
※⑤⑥⑦番目に取り付けるスリット化粧板は、①②③④番目に取り付けるスリット化粧板の厚みを考慮してカットしてください。

スリット化粧板取付順

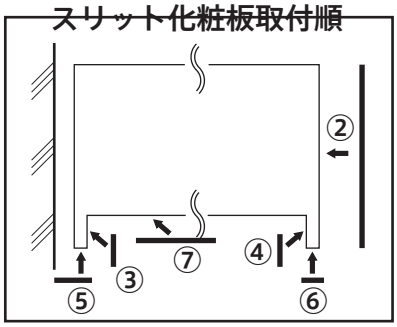


■ユニット側面に壁がくる場合

Ａ－２部詳細図



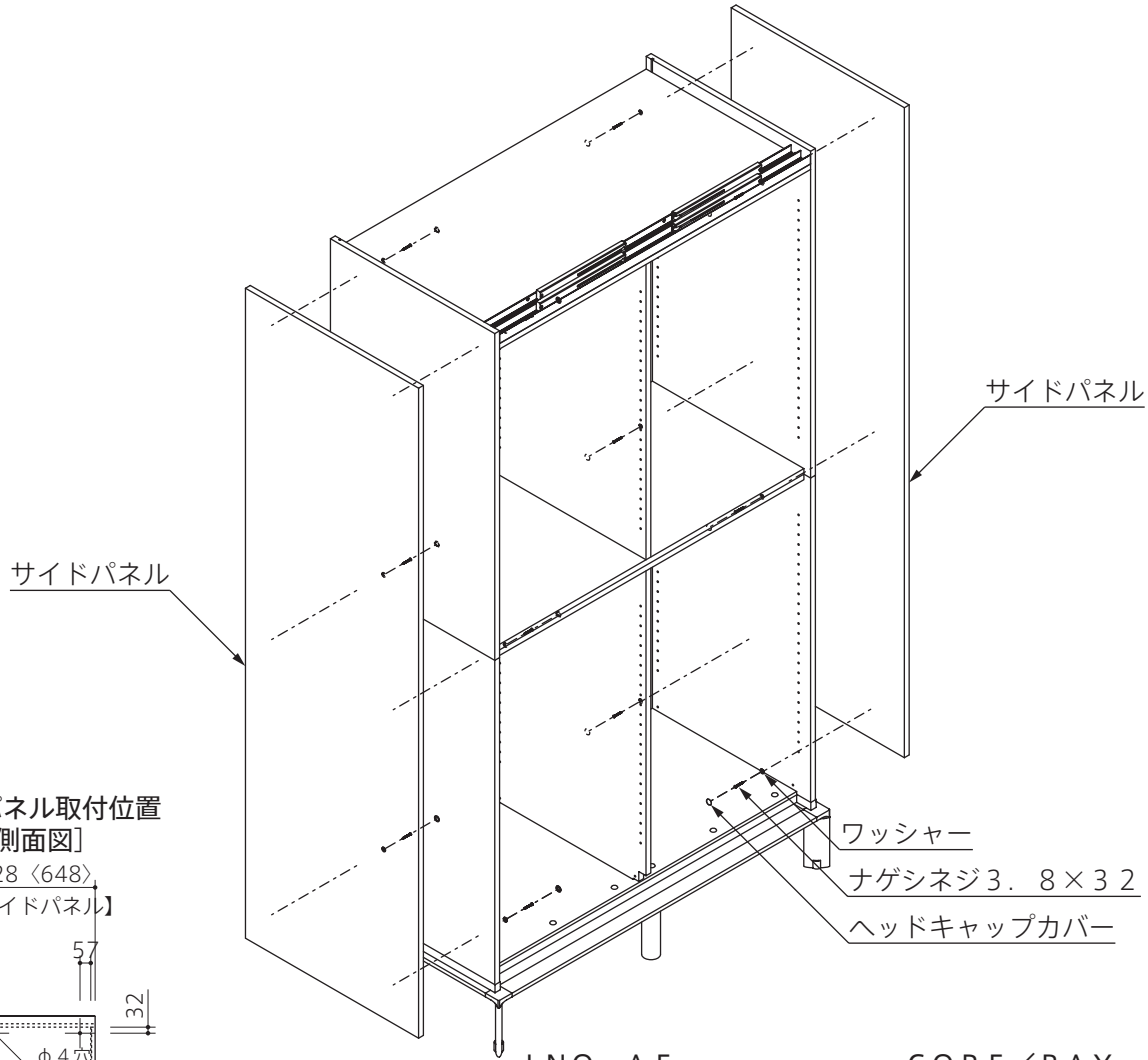
スリット化粧板取付順



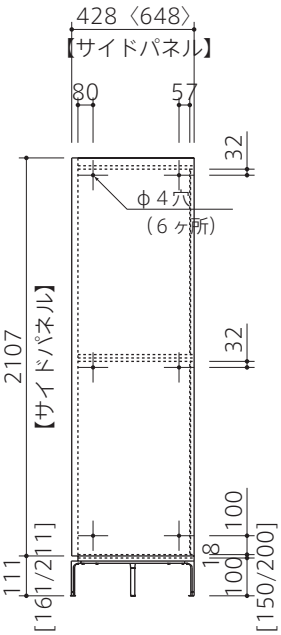
※①は取り付け不要です。

サイドパネルの取り付け

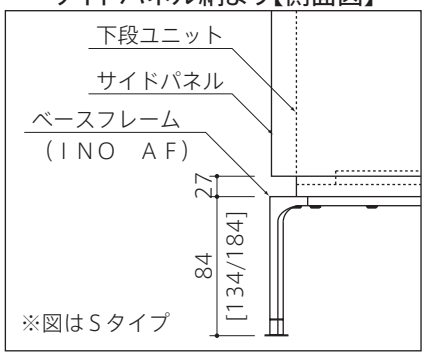
※ユニット側面に壁がくる場合、サイドパネルの代わりに薄型化粧フィラーを取り付けます。（次項参照）
・ユニット側板の指定位置に取付穴φ４をあけます。
【ＩＮＯ　ＡＦの場合】
・サイドパネル背面を壁面に合わせ、サイドパネルの下端がＩＮＯ　ＡＦのベースフレームより、２７mmの位置にくるように＋ナゲシネジ３．８×３２にワッシャーを通して固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。
※ＩＮＯ　ＡＦのベースフレームとサイドパネルの間に２７mmのスペーサーをはさむと、取り付けが容易です。
【ＣＯＲＥ　ＡＦ／ＢＡＹ　ＡＦの場合】
・サイドパネル背面を壁面に合わせ、サイドパネルの下端が下段ユニット底部より、１１mmの位置にくるように＋ナゲシネジ３．８×３２にワッシャーを通して固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。



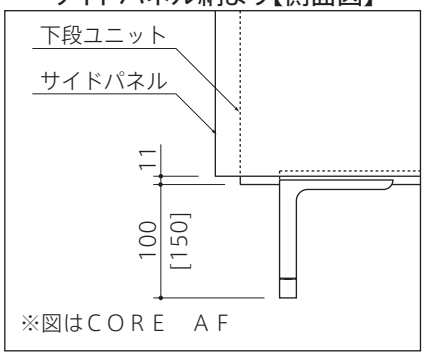
サイドパネル取付位置
［側面図］



ＩＮＯ　ＡＦ
サイドパネル納まり【側面図】



ＣＯＲＥ／ＢＡＹ　ＡＦ
サイドパネル納まり【側面図】

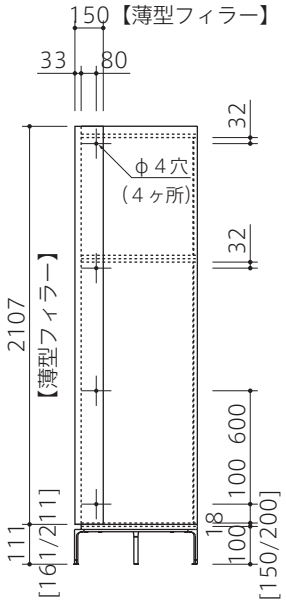


薄型フィラーの取り付け

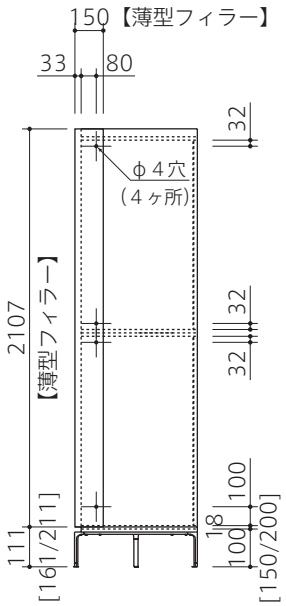
・ユニット側板の指定位置に取付穴φ４をあけます。
【ＩＮＯ　ＡＦの場合】
・薄型フィラーをユニット側板より３３mm出るように位置を合わせ、薄型フィラーの下端がＩＮＯ　ＡＦのベースフレームより、２７mmの位置にくるように＋ナゲシネジ３．８×３２にワッシャーを通して固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。
【ＣＯＲＥ　ＡＦ／ＢＡＹ　ＡＦの場合】
・薄型フィラーをユニット側板より３３mm出るように位置を合わせ、薄型フィラーの下端が下段ユニット底部より、１１mmの位置にくるように＋ナゲシネジ３．８×３２にワッシャーを通して固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

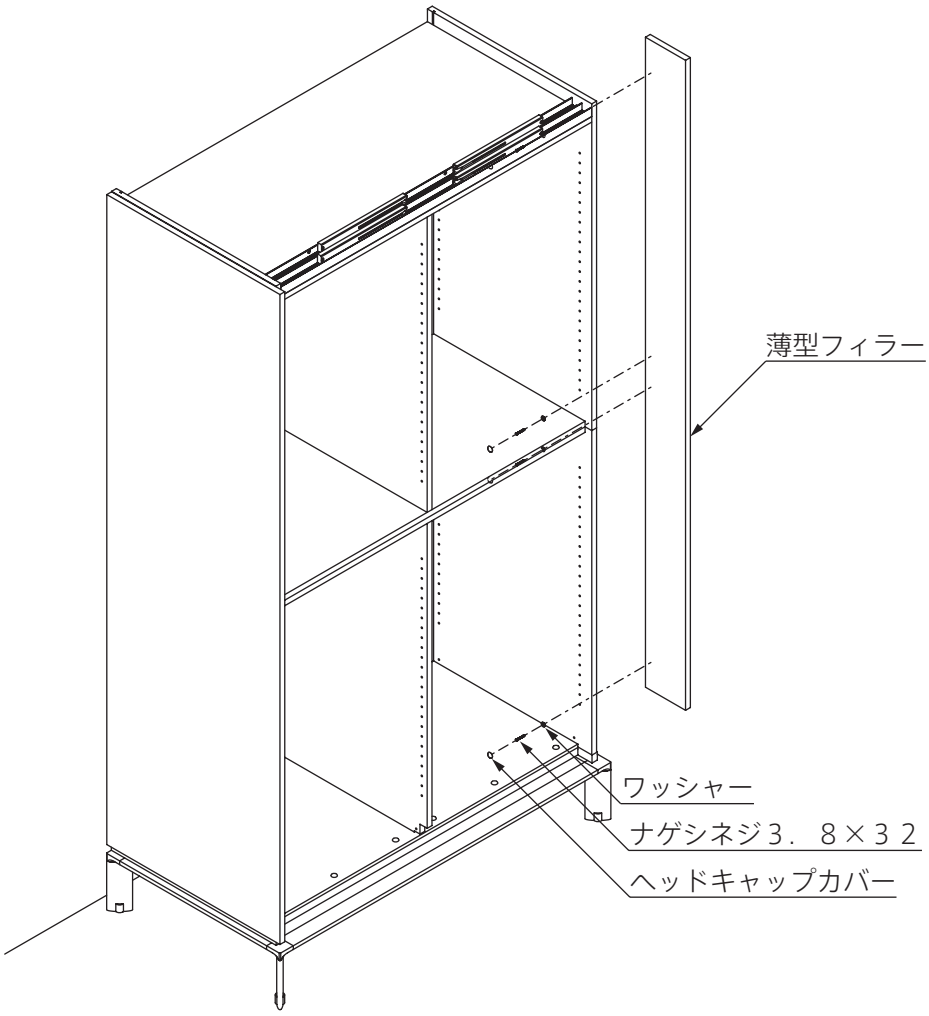
薄型フィラー取付位置
［側面図］

家電収納タイプ

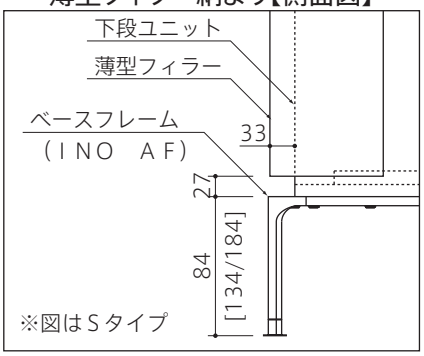


棚板タイプ

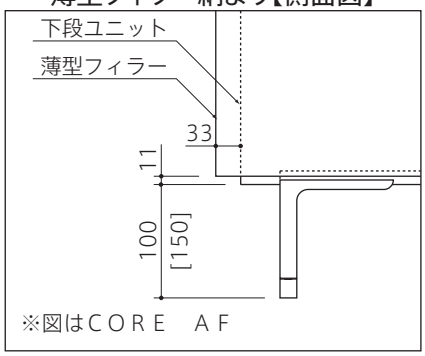




ＩＮＯ　ＡＦ
薄型フィラー納まり【側面図】



ＣＯＲＥ／ＢＡＹ　ＡＦ
薄型フィラー納まり【側面図】

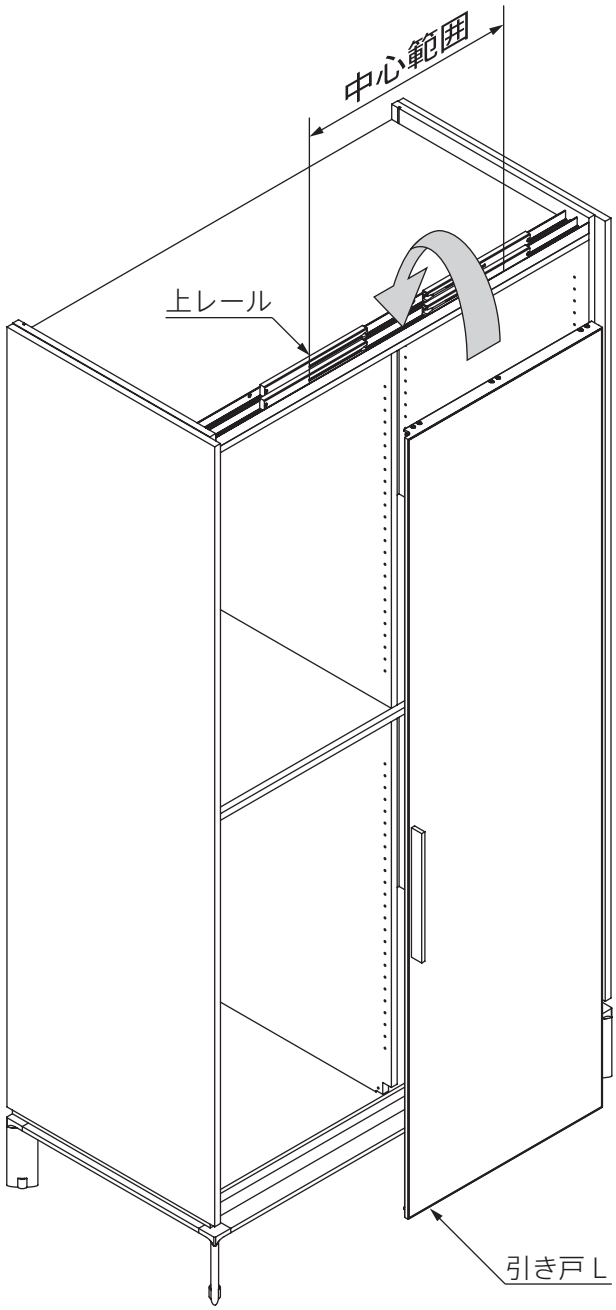


引き戸の取り付け

※引き戸を取り付ける前に、引き戸のフレームの直角、固定ネジのゆるみが無いか確認してください。

① 引き戸（L）の取り付け

・引き戸（L）を持ち上げ、上部ローラーを上レールの手前のレール部分中心にのせます。
※引き戸（L）の上部ローラーを上レールに乗せる際は目視で確認しながらレール部分にのせて下さい。



2 引き戸（R）の取り付け

①引き戸（L）を完全に左側に移動させてください。（図1）
②引き戸（R）を持ち上げ、引き戸（L）に被せるようにして上部ローラーを上レールの奥側のレール部分中心にのせます。（図1）
※引き戸（R）の上部ローラーを上レールに乗せる際は目視で確認しながらレール部分にのせて下さい。
※引き戸同士が接触しないように保持して下さい。
・引き戸（R）の下部を浮かせた状態で、③引き戸（R）を右側へ移動させ、④引き戸が完全に右側に移動した状態で引き戸（R）をまっすぐにします。（図2）

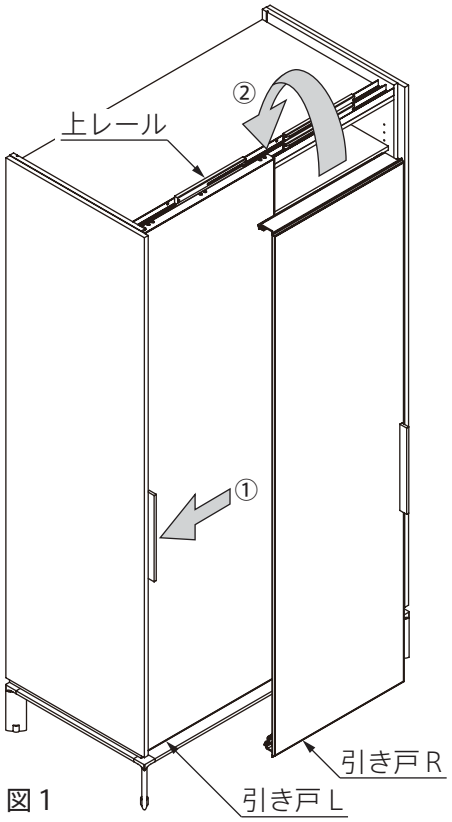


図1

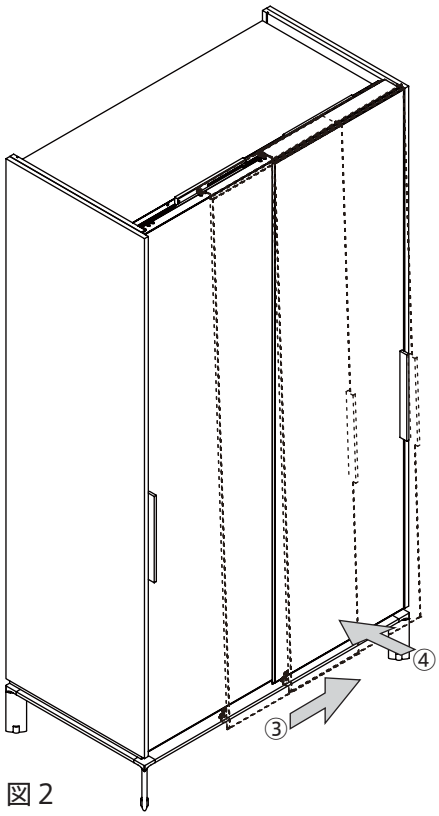
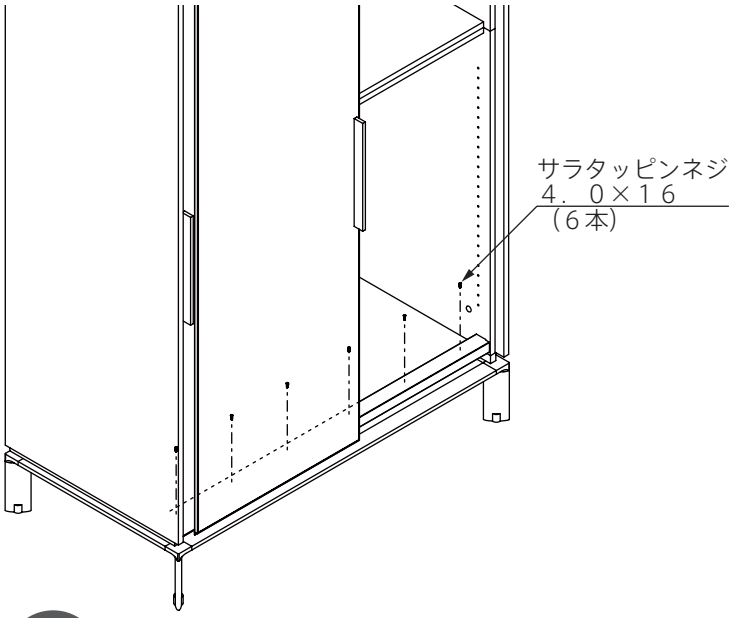


図2

下レールの取り付け

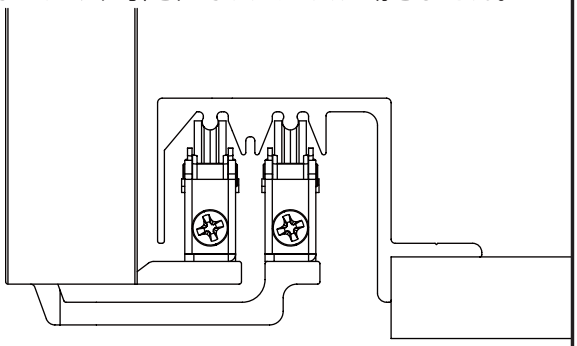
① 下レールの取り付け

・引き戸を左側に寄せ、下レールを右側からスライドさせ、下部ローラーにはめ込みながら
＋サラタッピンネジ４．０×１６にて下段ユニットの下端に固定します。



注意

ローラーが下レールの正しい位置にあることを必ず目視で確認してください。
正しい位置にないと、下レールがセットできなかったり、引き戸がスムーズに動きません。



② 平行を出す

・上部ローラーの左右の調整ネジでそれぞれの引き戸を平行にします。

③ 引き戸の固定

・下部ローラーの調整ネジを時計回りに回して引き戸に前後のガタがないように締め付けてください。
※下部ローラーの調整ネジを締め付けすぎないように注意してください。
※下部ローラーを締め付けてもガタがある場合は、上部ローラーの調整ネジで引き戸を上げてください。
（次頁参照）

戸当りの取り付け

※戸当りを取り付ける前に、取り付ける表面をきれいに拭き取ってください。
①両側の引き戸を開きます。
※引き戸と把手が接触しないように注意してください。
②ストッパーのはく離紙を剥がし、「引き戸（Ｌ）の把手」が「引き戸（Ｒ）のフレーム」に当たる部分に貼り付けてください。
※戸当りを２個使う必要はありません。

引き戸の上下方向調整

① 下部ローラーの調整ネジをゆるめる。

・下部ローラー（左右２ヶ所）の調整ネジを反時計回りに回してゆるめてください。（図２）
※上部、下部ローラーを調整の際にはフレキシブルドライバーをご使用ください。

② 上部ローラーの調整ネジで調整する。

・上部ローラーの調整ネジを回して調整し、水平を出してください。（図１）

③ 下部ローラーの調整ネジを締める。

・下部ローラーの調整ネジを時計回りに回して引き戸にガタがないように締め付けてください。（図２）
※下部ローラーの調整ネジを締め付けすぎないように注意してください。
※下部ローラーを締め付けてもガタがある場合は、上部ローラーの調整ネジで引き戸を上げてください。

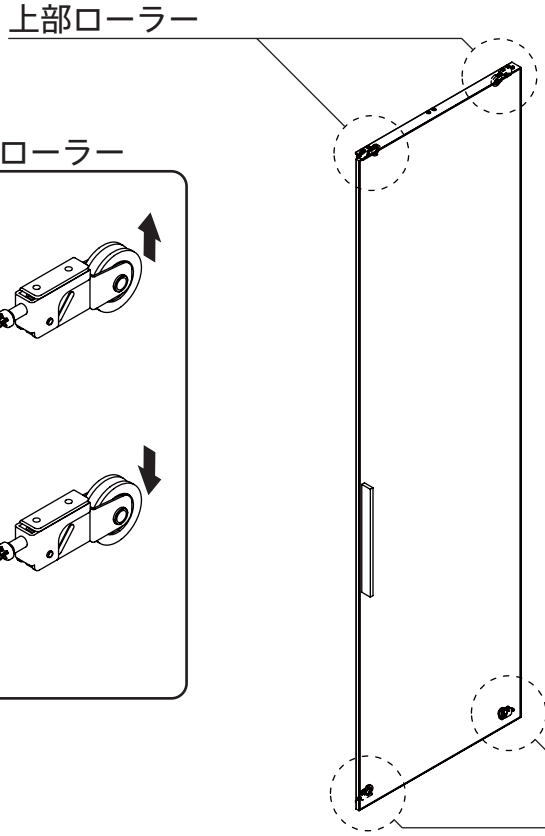


図１　上部ローラー

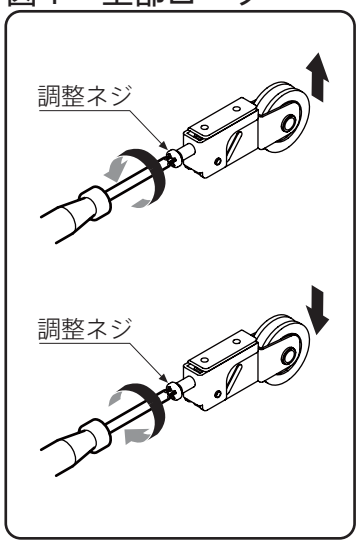
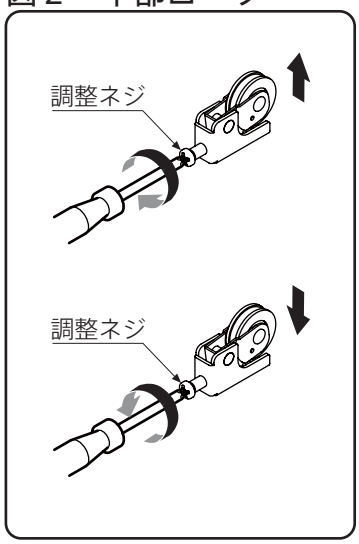


図２　下部ローラー



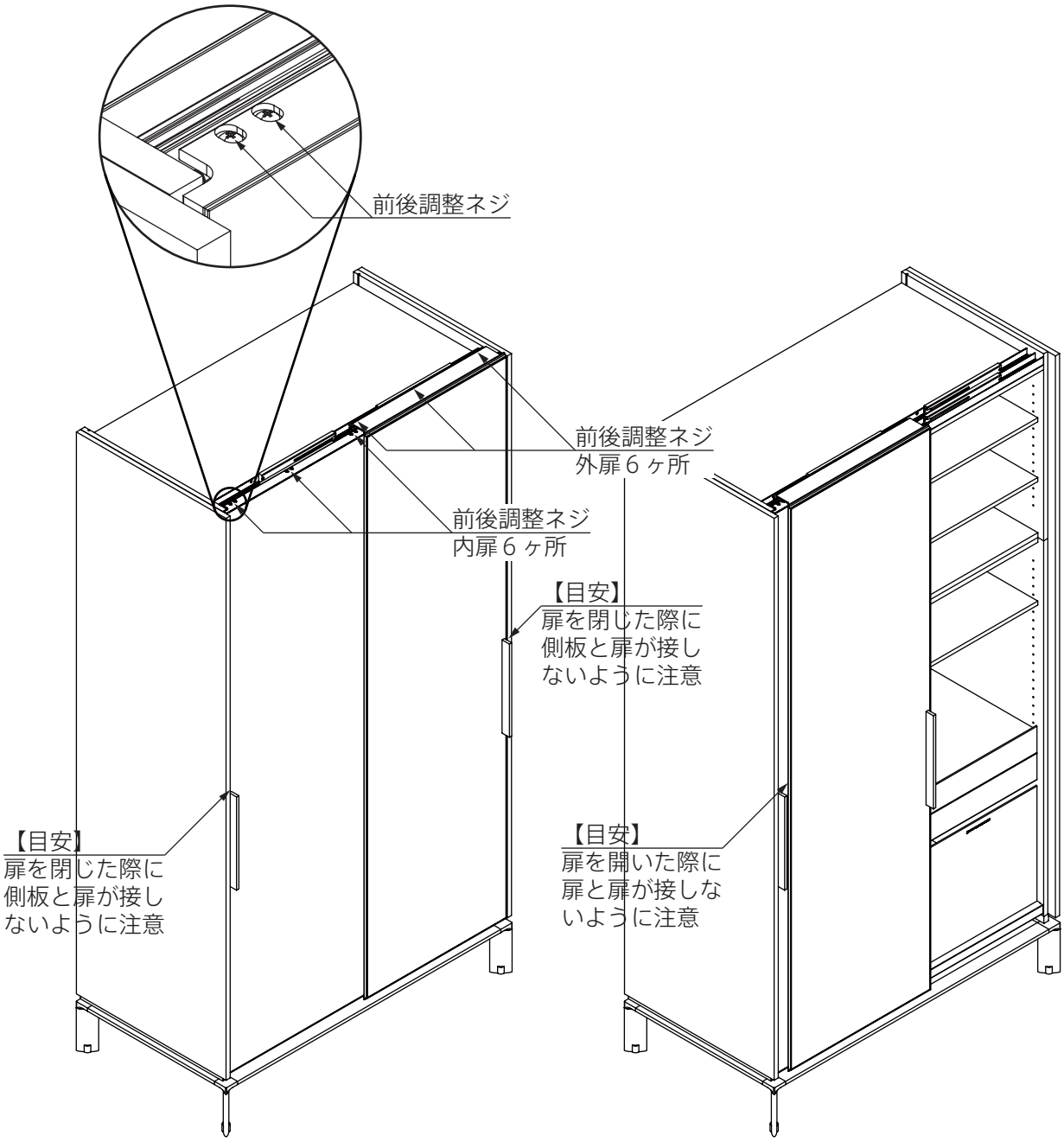
【引き戸の調整時の注意】
※上部ローラーの調整ネジを反時計回りに回して緩めすぎるとローラーが引き戸と接触し、動かなくなります。

引き戸の前後方向調整

❶ 上部ローラーの前後調整ネジをゆるめる。
※各扉ごとに調整してください。

❷ 上部ローラーを前後調整する。
※調整の目安は図をご参照ください。

❸ 上部ローラーの前後調整ネジを締める。
※各扉の上部ローラー前後位置が3ヶ所同じになるようにしてください。
※ネジを締める際にローラーが動かないように注意してください。

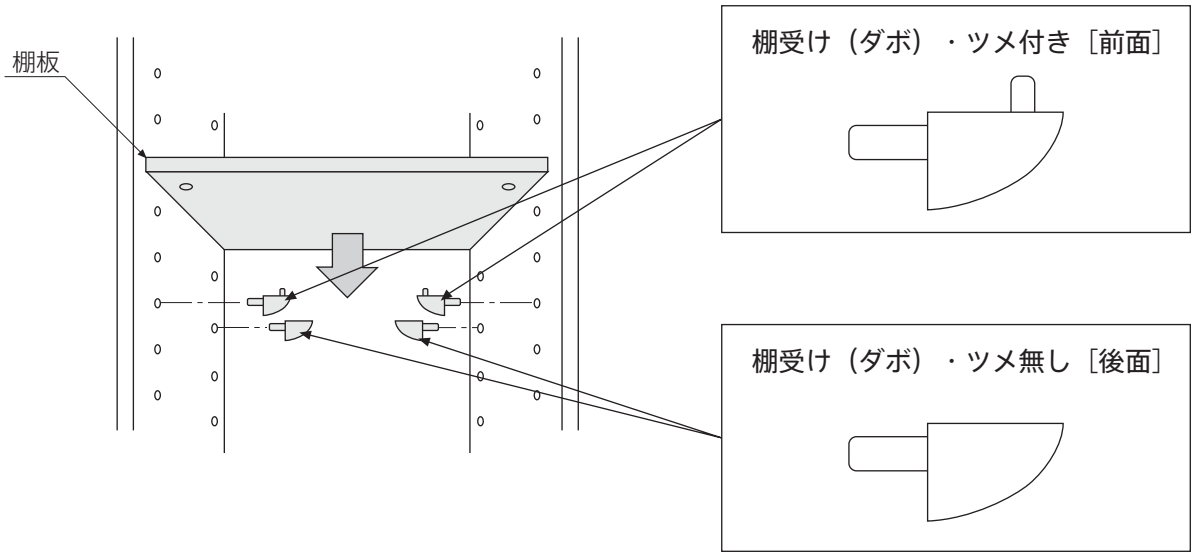


内装パーツの取り付け

① 棚板の取り付け（家電収納タイプ、棚板タイプ共通）

①側板の任意の穴位置に棚受け（ダボ）を差し込みます。
※木製棚板の場合は下図のように前面にツメ付きダボ、後面にツメ無しダボを差し込んでください。
②棚板を棚受け（ダボ）にのせます。
③棚板は自由に移動できますので、使用用途に合わせてお使いください。

【木製棚板の場合】



② 内装引き出しの取り付け（浅型・深型共通）（家電収納タイプの場合）

①内装引き出しレールをいっぱいまで引き出してください。（図１）
②内装引き出しレールの上に内装引き出しをのせてください。（図２）
③内装引き出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、内装引き出しレールに固定します。（図３）

図１

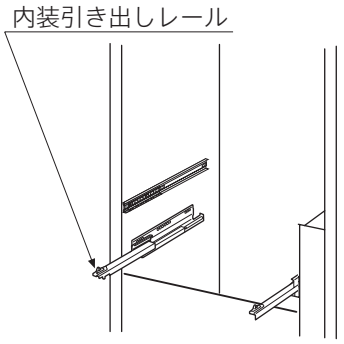


図２

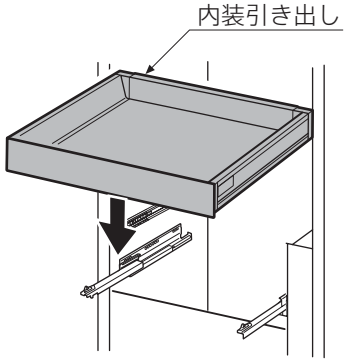
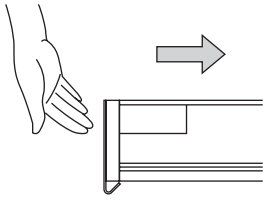
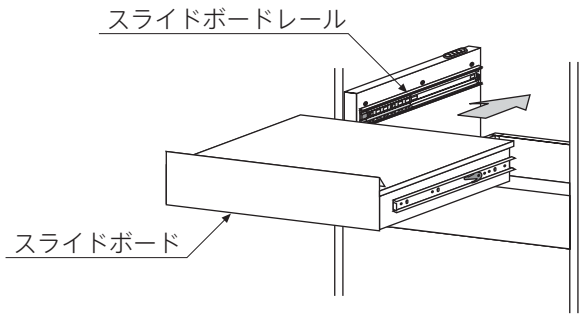


図３



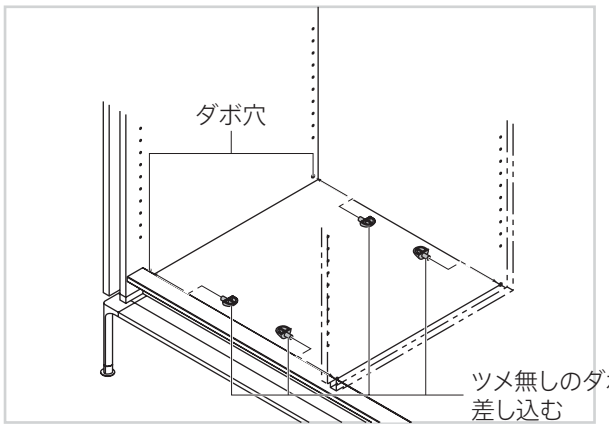
3 スライドボードの取り付け（家電収納タイプの場合）

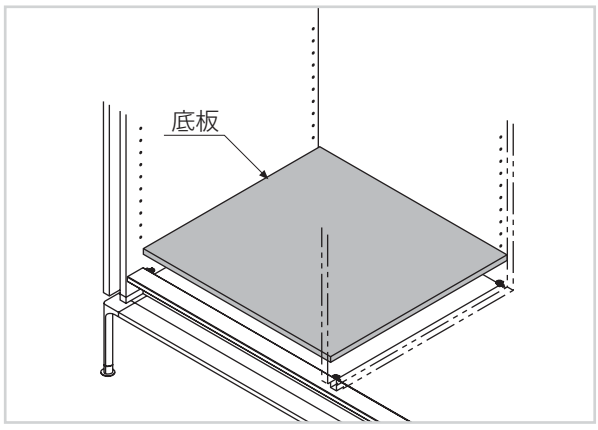
・スライドボード本体のレールをスライドボードレールに差し込むようにスライドさせて、奥までしっかり押し込んで固定します。



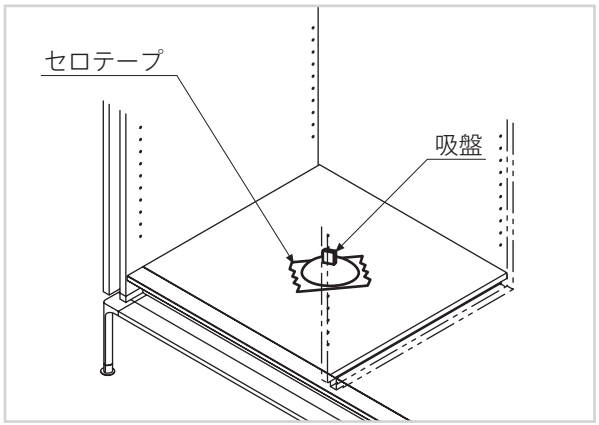
4 底板の取り付け（家電収納タイプD650の場合を除く）

①下段ユニットの最下のダボ穴にツメ無しのダボを差し込みます。
※棚板とは違い、全てのダボ穴にツメ無しダボを差し込んでください。
②底板を棚受け（ダボ）にのせます。





底板を取り外す場合は、底板にセロテープ等を貼って、吸盤で持ち上げてください。

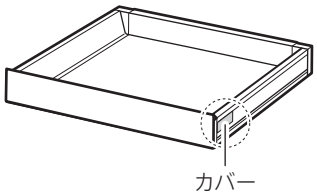


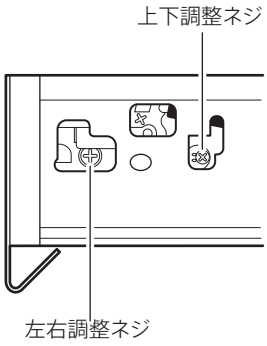
内装引き出し前板の調整（家電収納タイプの場合）

内装引き出し前板は調整することができます。

1 カバーを取り外す

内装引き出し側板の左右外側に付いている
カバーを取り外します。

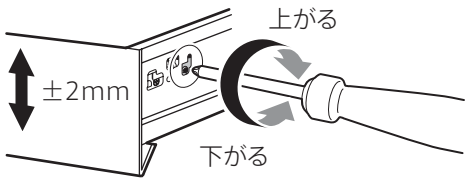




2 調整を行う

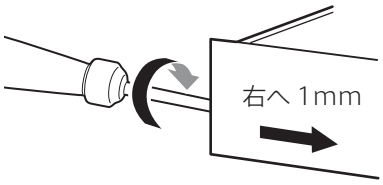
■上下方向

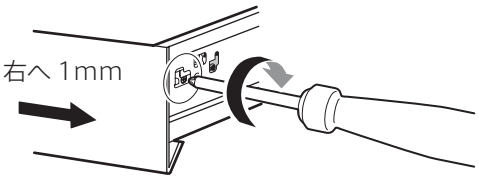
上下調整ネジで上下方向の調整を行います。
± 2 mm 調整できます。

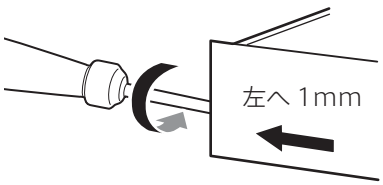


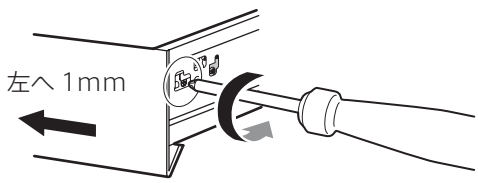
■左右方向

左右調整ネジで左右方向の調整を行います。
± 1 mm 調整できます。









3 カバーを取り付ける

取付・設置後の確認

・引き戸の目地を確認してください。
・上下部ローラーが上下レールにはまっているか確認してください。
・引き戸の開閉具合を確認してください。

取付・設置後の点検・清掃

① 「安全上のご注意」および説明書の内容通り取付・設置されているかを点検し、異常の無いことを確かめてください。
② 表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷等の損傷が無いか調べてください。

ホルムアルデヒド発散区分

ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分および下地部分とも　F☆☆☆☆
表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会　表示指針による
製造番号	本体に貼り付けの検査証をご確認ください
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	化粧パネル（ＰＢ）　F☆☆☆☆ ＭＤＦ　F☆☆☆☆ 合板　F☆☆☆☆ 接着剤　F☆☆☆☆

VOC 放散性能

ＶＯＣ放散性能	４ＶＯＣ基準適合（木質建材）
表示ルール	「住宅部品ＶＯＣ表示ガイドライン」による

※４ＶＯＣとは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示します。

MEMO

トーヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。
詳しくは、store.toyokitchen.co.jpをご覧ください。

快適なキッチンのススメ

トーヨーキッチンメンテナンス　www.tk-maintenance.com

TOYO KITCHEN STYLE 商品を気持ちよくご使用いただけるように、
トーヨーキッチンメンテナンスでは修理またはパーツ販売を承ります。

携帯からでも
修理／メンテナンスの
依頼ができます。

アクセスはこちらから →

株式会社 **トーヨーキッチンスタイル**

〒107-0062　東京都港区南青山3-16-3
www.toyokitchen.co.jp

ユーザーサポートセンター
お問い合わせ　info@toyo1.toyokitchen.co.jp
東京 03-5771-1040　名古屋 052-709-1040　大阪 06-6241-1040
福岡 092-729-1040　金　沢 076-264-1040　岡山 086-243-6111

P9WP-TRS454
15.09